

長崎短期大学 教員一覧

| 所属 | 氏名 | 職名 | 学位 | 担当授業科目 |
|---------------|-------------|---|----------------|-----------------|
| 食物科 | 林田美鳥 | 学科長・教授 | 家政学士 | 調理理論 |
| 食物科 | 平田安喜子 | 教授 | 家政学士 | 公衆衛生学 |
| 食物科 | 小玉智章 | 准教授 | 博士(学術) | 栄養学 |
| 食物科 | 西田江里 | 講師 | 修士(農学) | 栄養指導論 |
| 食物科 | 谷口英司 | 講師 | | 調理理論 |
| 食物科 | 市瀬尚子 | 講師 | 修士(健康管理学) | 食品学 |
| 食物科 | 馬場智子 | 助手 | 修士(健康管理等) | 調理学実習 |
| 食物科 | 外尾亜利珠 | 助手 | 修士(健康管理等) | 調理実習 |
| 食物科 | 大河内友美 | 助手 | 学士 | 調理学実習 |
| 保育学科 保育専攻 | 安部恵美子 | 学長・教授 | 文学修士 | 保育原理特論 |
| 保育学科 保育専攻 | 川原ゆかり | 副学長・介護福祉専攻長・教授 | 教育学士 | 保育学特別 |
| 保育学科 保育専攻 | 陣内敦 | 専攻科保育専攻科長・教授 | 芸術学修士 | 表現造形活動 |
| 保育学科 保育専攻 | 中尾健一郎 | 学科長・教授 | 修士(体育学) | 子どもと運動 |
| 保育学科 保育専攻 | 花城暢一 | 保育専攻長・准教授 | 修士(社会福祉学) | 社会的養護 |
| 保育学科 保育専攻 | 友廣憲子 | 准教授 | 芸術学士 | 表現音楽活動 |
| 保育学科 保育専攻 | 吉田美恵子 | 准教授 | 準学士 | 保育内容総論 |
| 保育学科 保育専攻 | 戸田恵理子 | 講師 | 修士(教育学) | 乳児保育 |
| 保育学科 保育専攻 | 澤田須賀子 | 講師 | 学士(教育学) | 実習指導 |
| 保育学科 保育専攻 | 座間味愛理 | 講師 | 修士 | 保育の心理学 |
| 保育学科 保育専攻 | 小浦康平 | 講師 | 工学修士 | コンピューター演習 |
| 保育学科 保育専攻 | 藤野正和 | 助教 | 修士(文学) | 障がい児保育 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 大橋和博 | 教授 | 経済学士・社会学士 | 介護福祉特別演習 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 小嶋栄子 | 教授 | 博士(日本文学) | Awe Some Sasebo |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 西村伊知恵 | 教授 | 学士 | 認知症の理解 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 藤島法仁 | 准教授 | 博士(水産学) | 社会の理解 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | | 平成29年度主な著書・論文:「介護予防・日常生活支援総合事業における新たなサービスの開発と利用に関する一考察 - 長崎県佐々町を事例に - 」日本社会分析学会『社会分析』44号(平成29年4月発行)(特集:社会福祉と共同性体)(単著) | | |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 井上美代子 | 准教授 | 修士(社会学) | 発達と老化の理解 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 北村光子 | 准教授 | 学術福祉修士 | 介護の基本 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 宮元預羽 | 講師 | 修士(心理学) | 介護総合演習 |
| 保育学科 介護福祉専攻 | 萩原宏美 | 講師 | 準学士 | 茶道文化 |
| 国際コミュニケーション学科 | 中野明人 | 教授 | 法学修士・学術修士 | キャリア支援講座 |
| 国際コミュニケーション学科 | 牟田美信 | 教授 | 言語学修士 | 実践英語音声学 |
| 国際コミュニケーション学科 | Luc Roberge | 准教授 | Master of Arts | 英会話 |
| 国際コミュニケーション学科 | 章潔 | 講師 | 博士(地域マネジメント) | 中国語会話 |
| 国際コミュニケーション学科 | 藤原由衣子 | 助教 | 学士(言語・文化) | 留学生への日本語授業 |
| 国際コミュニケーション学科 | 園田靖 | 助教 | 修士 | 英語 / |
| 国際コミュニケーション学科 | 李 載宇 | 助教 | 学士 | 韓国語会話 |

教員紹介

| | | |
|---|--------------------------------|-------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 林田 美鳥 | はやしだ みとり | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 調理・栄養コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 学生という貴重な体験を十分に楽しみ、そして活かし、卒業時には『私が雇う側だったら、私を雇う』というぐらいの自信にあふれた人間に成長されるよう、サポートしていきたいと思っています。 | | |
| 担当科目 | | |
| 調理学(栄養) | 調理学実習 ~ (栄養) | 給食経営管理論(栄養) |
| 給食経営管理実習 ~ | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 調理学 | 食文化 | 食生活 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 効果的な栄養士養成方法 | 短大生の食生活 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和51年3月 共立女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻卒業 家政学士 | | |
| 昭和58年9月 管理栄養士 登録 | | |
| 職歴 | | |
| 昭和55年4月 | 社会福祉法人 しらぬい学園 栄養課 就職 | (平成5年3月まで) |
| 平成5年4月 | 長崎短期大学 食物科 講師 | |
| 平成16年4月 | 長崎短期大学 食物科 助教授 | |
| 平成20年4月 | 長崎短期大学 食物科 教授 | (現在に至る) |
| 平成23年4月 | 長崎短期大学 FD/SD委員会委員長 | |
| 平成24年4月 | 就職委員会委員長、教務委員、自己点検評価委員 | |
| 平成26年4月 | 学科長、運営委員 | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成17年3月 | 保育教育におけるFD研究(共著) | 長崎短期大学研究紀要 第17号 pp.63-74 頁 |
| 平成22年度 ~ | フルコース会食会のもたらす教育効果の研究 研究代表者 | |
| 平成23年度 | 佐々町での農業体験と一日レストランの開催 分 担研究者 | |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成12年4月 | 長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 非常勤講師 | (現在に至る) |
| 平成16年度 | 川棚町シルバー人材・職業能力開発センター・介護養成講座 講師 | (平成18年度まで) |
| 平成16年度 | 大瀬戸町社会福祉協議会・介護養成講座 講師 | (平成18年度まで) |
| 平成16年度 | 佐世保市社会福祉協議会・介護養成講座 講師 | (平成18年度まで) |
| 平成16年度 | 長崎県介護労働安定センター 介護援助員養成講座 講師 | (平成23年度まで) |
| 平成16年度 | 波佐見町社会福祉協議会開催 食事サービス研修会 講師 | (平成23年度まで) |
| 平成19年度 | 椎木町独居高齢者交流会 運営主管 | (現在に至る) |
| 平成21年8月 | 教員免許状更新講習 講師 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|---|---------------------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 平田 安喜子 | ひらた あきこ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 製菓コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 社会で愛される人材になれるよう、一人一人の可能性を引き出すきっかけ作りをモットーに学生と対応したいと思っています。将来の夢を掲げ、頑張りましょう! | | |
| 担当科目 | | |
| 公衆衛生学 | 公衆衛生学 | 公衆衛生学 |
| カフェ学 | カフェ学 | インターンシップ |
| 基礎栄養学 | 応用栄養学 | 応用栄養学実習 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 栄養学 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 応用栄養学 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本栄養改善学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成元年3月 山口県立山口女子大学 家政学部食物栄養学科食物栄養学専攻 卒業(家政学士) | | |
| 平成2年10月 管理栄養士登録(厚生労働省 登録番号第49509号) | | |
| 平成15年4月 製菓衛生士免許取得(長崎県 第1721号) | | |
| 職歴 | | |
| 平成元年5月 大分県大分保健所 普及課 栄養士(産休代替として6カ月) | | |
| 平成3年4月 長崎短期大学 食物科 栄養士過程 助手 | | |
| 平成4年4月 長崎短期大学 食物科 栄養士過程 講師 | | |
| 平成17年4月 長崎短期大学 食物科 調理・製菓コース 助教授 | | |
| 平成19年4月 長崎短期大学 食物科 調理・製菓コース 准教授 | | |
| 平成25年4月 長崎短期大学 食物科 調理・製菓コース(現 栄養士・製菓コース) 教授 | | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成19年3月 | 食育を通じての短大と地域の子どもたちとの交流事業の展開 | 長崎短期大学研究紀要 第19号 |
| 平成22年3月 | 製菓コース 課外活動の教育効果について | 長崎短期大学研究紀要 第22号 |
| 平成24年3月 | 製菓コース 課外活動の教育効果について(その2) | 長崎短期大学研究紀要 第24号 |
| 平成25年3月 | 製菓コース 課外活動の教育効果について(その3) | 長崎短期大学研究紀要 第25号 |
| 平成28年3月 | 専門関連科目の教育効果について トータルコーディネートの歩み(研究ノート) | 長崎短期大学研究紀要 第28号 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成20年11月 佐世保市立大久保小学校 学校保健委員会講師 | | |
| 平成20年8月 財団法人介護労働安定センター介護職員基礎研修「食生活の支援」講師(平成23年まで) | | |
| 平成21年9月 福祉・介護サービスチャレンジ教室(長崎県福祉保健課)講師(平成23年まで) | | |

| | | |
|----------|---------------------------|-----------|
| 平成22年7月 | 日野幼稚園 食育講座 | (平成24年まで) |
| 平成24年4月 | 日野幼稚園 (サラダっ子通信 食育担当) | (現在に至る) |
| 平成27年11月 | させぼ市民協働月間 イベント協力 | |
| 平成28年5月 | させぼわんぱくひろば 実行委員及びボランティア協力 | |

教員紹介

| | | |
|---|--|--|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 小玉 智章 | こだま ともあき | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 栄養士コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 自分の命を預けられる(信頼できる)栄養士の育成を目指します! | | |
| 担当科目 | | |
| 生化学 | 生化学実習 | 栄養学 |
| 栄養士論 | 栄養士実務技術演習 | 総合演習A・B |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 栄養生理学 | 応用栄養学 | 生化学 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| ホルモンによる摂食調節メカニズムの解明 | グレリンが癌の進展に及ぼす作用の解明 | 酒粕の生活習慣病に対する改善効果の解明 |
| 所属学会 | | |
| 日本栄養・食糧学会 | 日本栄養改善学会 | 日本組織細胞化学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成11年3月 栄養士免許 取得(第4839号) | | |
| 平成11年12月 管理栄養士 登録(第91948号) | | |
| 平成19年3月 京都府立大学大学院人間環境科学研究科博士後期課程食環境科学専攻 博士(学術)取得(第9号) | | |
| 職歴 | | |
| 平成18年4月 | 長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科 助手 | (平成21年3月まで) |
| 平成21年4月 | 長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科 助教 | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科 講師 | (平成28年3月まで) |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学食物科 准教授 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成21年3月 | 栄養科学シリーズ NEXT 臨床栄養管理学各論(第2版) | 講談社サイエンティフィック |
| 平成21年4月 | N ブックス実験シリーズ 基礎栄養学実験 | 健帛社 |
| 平成24年3月 | ブラックタイガーエビ Penaeus monodon におけるマイナーアレルゲンの同定 | 長崎国際大学論叢 第12巻 pp.133~140 |
| 平成27年4月 | 三訂マスター応用栄養学 | 健帛社 |
| 平成7年7月 | 栄養科学シリーズ NEXT 解剖生理学実習 | 講談社サイエンティフィック |
| 平成28年1月 | Effects of Compounded Human Ghrelin in a Mouse Model of Pancreatic Carcinoma | JOP. Journal of the Pancreas. 08 17(1) pp.216. |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成22年11月 | 特定非営利活動法人日本栄養改善学会評議員 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|--|-------------------------------|--------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 西田 江里 | にしだ えり | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 栄養士コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 栄養士として自分に何ができるのか、何をすべきなのかを考えてもらえる授業をしていきたいと思っています。 | | |
| 担当科目 | | |
| 栄養指導論 | 栄養指導論実習 | 公衆栄養学 |
| 給食経営管理実習(学内) | 給食経営管理実習(学外) | 学外事前・事後指導 |
| 生活支援技術B(介護専攻) | 食品学(製菓コース) | 総合演習B |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 栄養教育 | 食育 | 健康心理学 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 地域における食育 | 摂食障害に関するリテラシー | |
| 所属学会 | | |
| 日本栄養士会 | 日本栄養改善学会 | 日本摂食障害学会 |
| 日本産業カウンセラー協会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成13年3月 熊本県立大学生生活科学部食物栄養学科卒業 | | |
| 平成13年8月 管理栄養士登録(第101001号) | | |
| 平成16年3月 九州大学大学院生物資源環境科学府博士前期課程生物機能学専攻修了 修士(農学) | | |
| 平成23年3月 産業カウンセラー登録(登録番号 09009400) | | |
| 職歴 | | |
| 平成16年4月 | 長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科助手 | (平成28年3月まで) |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学食物科講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成26年12月 | 成人女性の就業状況の違いと食生活の差との関連 | 栄養学雑誌 第72巻6号 pp.311-317 |
| 平成25年3月 | 女性の年齢と食育の認識が食生活に及ぼす影響 | 長崎国際大学論叢 第13巻 pp.105-114 |
| 平成24年3月 | 佐世保市民における食育の認知及び実践 | 長崎国際大学論叢 第12巻 pp.113-122 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成17年10月 | 九州文化学園調理師専修学校 栄養学 非常勤講師 | (平成19年3月まで) |
| 平成17年10月 | 九州文化学園調理師専修学校 公衆衛生学 非常勤講師 | (平成18年3月まで) |
| 平成19年4月 | 九州文化学園調理師専修学校 食品学 非常勤講師 | (平成28年3月まで) |
| 平成21年10月 | 佐世保市医師会看護専門学校看護科 公衆衛生学 非常勤講師 | (平成21年11月まで) |
| 平成21年11月 | 佐世保市医師会看護専門学校看護科 衛生統計学 非常勤講師 | (平成22年1月まで) |
| 平成22年10月 | 佐世保市「食育に関するアンケート調査」集計・分析業務 | (平成23年3月まで) |
| 平成23年5月 | 佐世保市食肉衛生検査所食育事業「お肉ができるまで」開催補助 | (平成27年まで) |
| 平成24年1月 | 佐世保市「佐世保市民の健康に関する実態調査」集計・分析業務 | (平成24年3月まで) |
| 平成24年4月 | 長崎県栄養士会佐世保支部運営委員 | (平成26年まで) |
| 平成27年4月 | 平成27年度科学研究費補助金交付(平成30年まで) | |
| 平成28年5月 | 西九州大学短期大学部との包括連携協定の委員 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|--|--|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 谷口 英司 | たにくち えいじ | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 製菓コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 自分から学生へ伝えられる技能は出し惜しみしない、手を抜かない。 プロフェッショナルと呼ばれる人は、専門分野に関して一般の方よりも高い意識・深い知識を持つ必要があり、またその考え方を継続していかなければなりません。 今まで一般的な感覚で「当たり前」と思っていたレベルを高め、「プロフェッショナル」を目指す指導を行う事を心掛けています。 | | |
| 担当科目 | | |
| 製菓実習 . . . (製菓) | 製菓理論 . . . (製菓) | 調理学実習 (栄養) |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 菓子製造技術(洋菓子) | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 菓子材料に関する研究 | 長崎短期大学オリジナル製品の制作 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成10年3月 | 学校法人 日本食品技術専門学校(みかしほ学園) | 卒業 |
| 平成10年9月 | 製菓衛生師免許 取得 | |
| 職歴 | | |
| 平成10年4月 | お菓子のアトリエ ラ・マドレーヌ 入社 | (平成18年5月まで) |
| 平成18年6月 | 株式会社 チャイナロードジャパン 入社 | (平成20年3月まで) |
| 平成20年4月 | 長崎短期大学 食物科 講師 | |
| 平成20年4月 | 学生委員会 就職委員会 入試募集・広報委員会 委員 | |
| 平成24年4月 | 学生委員会 就職委員会 入試募集・広報委員会 図書委員会 委員 | |
| 平成28年4月 | 国際交流・地域連携委員会 委員 | |
| 平成28年4月 | 私立大学研究ブランディング事業計画 委員会 委員 | |
| 平成29年4月 | 入試募集広報委員会 委員 | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成28年3月 | 「製菓コース<製菓製造における技術習得と即戦力となる人材の育成について>長崎県洋菓子技術コンテストとジャパンケーキショーへの出展作品制作の成果」 | 長崎短期大学研究紀要 第号 pp. |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成20年 | 市民公開講座へのパンおよび製菓の提供(製造・サービス指導) | (現在に至る) |
| 平成20年10月 | 民間講師(長崎県立北松農業高等学校への出張授業 年1回開催) | (現在に至る) |
| 平成21年 | 製菓衛生師国家試験対策講座 講師 | (現在に至る) |
| 平成22年 | 地域住民を迎えての喫茶実習指導 | (現在に至る) |
| 平成22年9月 | 韓国究磨専門学校で洋菓子の製作実演 | |
| 平成24年2月 | 短大フェア(JR九州ホール、2月26日)にて製作実演 | (現在に至る) |
| 平成26年6月 | 長崎県洋菓子技術コンテスト・ジャパンケーキショー東京 学生出展作品 実技指導 | (現在に至る) |
| 平成26年6月 | 市民公開講座「製菓実技 お菓子作りの技とコッ・卵(卵白)が泡立つ理由とは？」 | 講師 |

教員紹介

| | | |
|---|-----------------------------|------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 市瀬 尚子 | いちせ なおこ | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 製菓コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 食品について知識と技術を学び、『食べる』楽しみと『作る』楽しみの両方を味わってほしいと思います。 短大生活の2年間、楽しみながら製菓衛生師を目指しましょう！ | | |
| 担当科目 | | |
| 食品衛生学概論(製菓) | 食品衛生学 ~ (製菓) | 食品衛生学実験(製菓) |
| 食品衛生学(栄養士) | 食品衛生学実習(栄養士) | 総合演習・総合演習 |
| 製菓実習 | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 食品衛生学 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 地域の食材を使った新しい特産品の開発 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本食品衛生学会 | 日本食品微生物学会 | 日本食生活学会 |
| 日本栄養士会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成18年8月 管理栄養士登録(第128112号) | | |
| 平成20年3月 長崎国際大学健康管理学研究科健康栄養学専攻 修了 | | |
| 職歴 | | |
| 平成20年4月 | 株式会社ポオトデリカトオカツ 規格管理・商品開発営業部 | (平成24年8月まで) |
| 平成24年9月 | 長崎短期大学 食物科 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成19年11月 | 健康成人における黄色ブドウ球菌の保菌状況と性状 | 第35回日本食生活学会総会 |
| 平成28年3月 | 新商品開発活動がもたらす教育効果について | 長崎短期大学研究紀要 第28号 pp.99-106 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成27年9月 | 佐世保まちなか公開講座 講師 | |
| 平成28年9月 | 佐世保まちなか公開講座 講師 | |

教員紹介

| | | |
|--|-----------------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 馬場 智子 | ばば さとこ | 助手 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 栄養士コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 仲間との様々な実習を通して、技術の習得だけではなくコミュニケーション能力や食への関心も身に付けた栄養士を目指しましょう! | | |
| 担当科目 | | |
| 調理学実習 | 調理学実習 | 総合調理実習 |
| 調理実習 | 調理実習 | 高度調理技術実習 |
| 茶道文化 | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 調理科学 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 摂食・嚥下機能について | | |
| 所属学会 | | |
| 公益社団法人 日本栄養士会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成26年3月 | 長崎国際大学 健康管理学部 健康栄養学科 卒業 | |
| 平成26年3月 | 栄養士免許 習得(第14606号) | |
| 平成26年5月 | 管理栄養士免許 登録(第188362号) | |
| 平成28年3月 | 長崎国際大学大学院 健康管理学研究科 健康栄養学専攻 修了 | |
| 職歴 | | |
| 平成24年4月 | ティーチングアシスタント(茶道文化 A, B, A) | (平成25年9月まで) |
| 平成26年10月 | ティーチングアシスタント(栄養情報処理) | (平成28年3月まで) |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学 食物科 助手 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成26年11月 | 給食施設における摂食・嚥下機能に配慮した食事の取り組み | 第49回 日本食生活学会 |
| 平成27年11月 | 病院・施設における摂食・嚥下機能に配慮した食事形態 | 第51回 日本食生活学会 |
| 平成28年2月 | 施設における摂食・嚥下機能に対応した食事のテクスチャーに関する研究 | 長崎国際大学大学院 修士論文 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |

教員紹介

| | | |
|--|--------------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 外尾 亜利珠 | ほかお ありす | 助手 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 栄養士コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 調理実習、実験実習、また授業以外でも、学生の短大生活が充実するようにサポートします。 | | |
| 担当科目 | | |
| 応用栄養学実習 | 栄養指導論実習 | 栄養指導論実習 |
| 総合演習 A | 総合演習 B | 食品学実習 |
| 解剖生理学実習 | 生化学実習 | 食品衛生学実験 |
| 茶道文化 | 茶道文化 | コンピュータ演習 |
| 製菓実習 | 生活支援技術 B | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 分子栄養学 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 妊娠期のカルシウム制限が胎児び仔に及ぼす影響 | | |
| 所属学会 | | |
| 公益社団法人 日本栄養士会 日本食生活学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成26年3月 長崎国際大学 健康管理学部 健康栄養学科 卒業 | | |
| 平成26年3月 栄養士免許 取得(第14611号) | | |
| 平成26年5月 管理栄養士免許 登録(第185779号) | | |
| 平成28年3月 長崎国際大学 健康管理学研究科 健康栄養学専攻 修了 | | |
| 職歴 | | |
| 平成26年1月 | ティーチングアシスタント(栄養情報処理) | (平成28年3月まで) |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学 食物科 助手 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成28年11月 | 妊娠期のカルシウム制限が子の IGF-1 発現に及ぼす影響 | 第53回 日本食生活学会(大阪) |
| 平成28年2月 | 妊娠期のカルシウム制限が胎児及び仔に及ぼす影響 | 長崎国際大学大学院 修士論文 |
| 平成27年11月 | 妊娠期のカルシウム制限が胎児の IGF-1 発現に及ぼす影響 | 第51回 日本食生活学会(岡山) |
| 平成26年11月 | 母体の鉄制限が胎児の GLUT 発現に及ぼす影響 | 第49回 日本食生活学会(金沢) |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |

教員紹介

| | | |
|--|----------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 大河内 友美 | おおかわち ともみ | 助手 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 食物科 | 栄養士コース | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 理論が実践できるように、実習中のサポートを行っていきたいと思います。 | | |
| 担当科目 | | |
| 調理学実習 | 給食経営管理実習 | 臨床栄養学実習 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 給食経営管理 | 臨床栄養学 | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| フードマネージメント | 臨床栄養学 | |
| 所属学会 | | |
| 公益社団法人日本栄養士会 | 日本病態栄養学会 | 日本肥満学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成18年3月 | 長崎県立大学シーボルト校 看護栄養学部 栄養健康学科 | 卒業 |
| 平成18年6月 | 管理栄養士免許 | 登録番号127612号 |
| 職歴 | | |
| 年 月 | 管理栄養士として 病院に勤務 | (平成29年3月まで) |
| 平成29年4月 | 長崎短期大学 食物科 栄養士コース 助手 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |

教員紹介

| | | |
|---|------------------------------|------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 安部 恵美子 | あべ えみこ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 短期大学は、卒業後に職場や地域で活躍する人を育てるという使命を持っています。一人一人の学生が、長崎短大で実力をつけて、希望を持って社会へ出ることができるよう、サポートをしたいと思います。 | | |
| 担当科目 | | |
| 大学教育入門 | 教師論 | |
| 保育職特論 | 保育原理特論 | 文書講読プレゼンスキル演習 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 教育学 | 高等教育論 | 保育学(保育制度と保育者養成) |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 短期高等教育に関する研究 (歴史研究 国際比較 機関比較) | 短期高等教育の方法論の開発 | 保育者養成の展望 |
| 所属学会 | | |
| 日本高等教育学会 | 大学教育学会 | 日本教育社会学会 |
| 九州教育学会 | 日本インターンシップ学会 | 日本保育学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭57年3月 奈良女子大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了(文学修士) | | |
| 職歴 | | |
| 昭57年4月 九州文化学園短期大学(昭60年長崎短期大学に校名変更)幼児教育学科講師 | | |
| 昭60年4月 長崎短期大学幼児教育学科助教授 | | |
| 平7年4月 長崎短期大学幼児教育学科教授 | | |
| 平16年4月 長崎短期大学副学長・保育学科教授 | | |
| 平18年4月 長崎短期大学学長・保育学科教授 現在に至る | | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平19年3月 | 保育計短期大学卒業生の進路キャリア形成と短大評価Ⅱ | 長崎短期大学研究紀要、第19号、59-72頁 |
| 平20年3月 | 本学における職業教育の現状と課題(共著) | 長崎短期大学研究紀要、第20号、75-94頁 |
| 平22年3月 | 「在学生調査」からみた長崎短期大学の教育(共著) | 長崎短期大学研究紀要、第22号、1-20頁 |
| 平22年6月 | 短期大学の学生調査 キャリア教育・職業教育の探究(共著) | 大学教育学会第32回大会(愛媛大学) |
| 平23年3月 | 短期大学の学生調査 キャリア教育・職業教育の探究(共著) | 短期大学コンソーシアム九州紀要 第1号 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平18年5月 | 全国保育士養成協議会理事 | |
| 平20年5月 | 全国保育士養成協議会常任理事(同協議会九州ブロック会長) | |
| 平21年10月 | 短期大学コンソーシアム九州推進委員会委員長 | |
| 平22年8月 | 長崎県少年保護育成審議会委員長 | |
| 平22年10月 | 日本インターンシップ学会第11回大会実行委員長 | |
| 平23年4月 | 長崎県障害者福祉事業団 理事兼評議員 | |
| 平23年4月 | 九州地方社会保険医療協議会 | |
| 平24年2月 | 九州地区私立短期大学協会 会長 | |
| 平24年5月 | 日本私立短期大学協会 副会長 | |

教員紹介

| | | |
|--|------------------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 川原 ゆかり | かわはら ゆかり | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 副学長 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 誰かのために 何かのために！ 子どもは私たちの希望・愛・繋がる歴史・いのち・未来 | | |
| 担当科目 | | |
| 保育原理(保育) | 女性学(保育) | 保育学特別演習(保育) |
| 保育実践演習(保育) | 発達障害各論(専攻科) | 保育児童(子育て)相談(専攻科) |
| 臨床心理学特論(専攻科) | コミュニケーションB(介護福祉専攻) | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 児童福祉 | 心理臨床 | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 1) 厚生労働科学研究「罪を犯した障がい者の地域生活支援に関する研究」 | | |
| 2) 保育者養成校に対する地域ニーズに関する研究 ～未就学児を持つ保護者のサポートニーズと保育の専門性に着目して～ | | |
| 3) 保育者養成校に対する地域ニーズに関する研究 ～保育者の成長プロセスに着目した養成校の在り方の検討～ | | |
| 4) 「茶道文化」教育の教育効果に関する探索的研究 ～ホスピタリティの育成に着目して～ | | |
| 5) 茶道文化教育の教育効果の可視化に関する探索的研究 ～社会人基礎力の指標の策定を試みる～ | | |
| 所属学会 | | |
| 日本描画テスト・描画療法学会 | 日本心理臨床学会 | 九州臨床心理学会 |
| 長崎県精神保健福祉協会 | 医療と福祉を考える会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和44年3月 長崎大学教育学部卒業 小学校教諭一級普通免許 幼稚園教諭二級普通免許 養護教諭二級普通免許 | | |
| 職歴 | | |
| 平成13年4月 長崎県中央児童相談所長 | | (平成19年3月まで) |
| 平成16年4月 長崎大学医学部 非常勤講師 | | (現在に至る) |
| 平成19年4月 長崎短期大学 保育学科 准教授 | | (平成21年3月まで) |
| 平成21年4月 長崎短期大学 保育学科 教授 | | (平成23年3月まで) |
| 平成23年4月 長崎短期大学 保育学科長 | | (平成28年4月まで) |
| 平成28年4月 長崎短期大学 副学長兼介護福祉専攻長 | | (平成29年3月まで) |
| 平成29年4月 長崎短期大学 副学長 | | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成12年9月 | 現代のエスプリ「LD(学習障害)の臨床～LDリスク児の療育の実際～」 | 至文堂 |
| 平成13年8月 | ADHDと児童虐待～実践障害児教育研究～ | 学習研究社 |

| | | |
|---|--|-------------|
| 平成13年8月 | ADHDと児童虐待～実践障害児教育研究～ | 長崎新聞社 |
| 平成14年6月 | 長崎新聞エッセイ「うず潮」執筆 (平成20年5月まで) | NBC |
| 平成20年4月 | NBC TV生活情報番組「あっ！ぶる」出演 (平成21年11月まで) | 幼児教育研究所 |
| 平成17年6月 | 『幼児教育「子どもと家庭」』 | 北大路書房 |
| 平成18年4月 | 『臨床描画研究「子どもの臨床現場での描画臨床」』 | 至文堂 |
| 平成19年3月 | 『アスペルガー症候群を究める』 | 金剛出版 |
| 平成19年3月 | 『臨床心理学「描画」』 | 至文堂 |
| 平成19年10月 | 『アスペルガー症候群の歴史と現場から究める』 | |
| 平成20年4月 | 「罪を犯した障がい者の地域生活支援に関する研究」 | 厚生労働科学研究 |
| 平成21年4月 | 触法・被疑者となった高齢者・障害者への支援に関する研究 (平成23年3月) | 厚生労働科学研究 |
| 平成24年3月 | 認知症ケア(DVD) | NHK厚生文化事業団 |
| 平成25年4月 | 厚生労働省社会福祉推進事業「長崎県調査支援研究」 | |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成16年4月 | 長崎大学 非常勤講師 | (現在に至る) |
| 平成20年10月 | 社会福祉法人南高愛隣会 評議員 | (現在に至る) |
| 平成21年8月 | 教員免許状更新講習 講師 | (現在に至る) |
| 平成21年9月 | 佐世保市立北中学校・高等学校スクールカウンセラー | (平成23年3月まで) |
| 平成23年4月 | 平戸市公立保育所在り方検討委員会 | (平成24年4月まで) |
| 平成23年10月 | 佐世保市保育所施設整備計画策定委員会 | (現在に至る) |
| 平成24年4月 | 厚生労働省モデル事業・長崎県障害者審査会委員 | (平成25年3月まで) |
| 平成25年4月 | 社会福祉法人児童養護施設スーパーバイザー | (現在に至る) |
| 平成25年4月 | 厚生労働省社会福祉推進事業・長崎県障害者調査支援委員会委員長 (平成26年3月まで) | |
| 平成25年7月 | 佐世保市子ども・子育て会議委員・施設型給付部会委員長 | (現在に至る) |
| 平成26年4月 | 佐世保市立児童養護施設民間委譲先候補選定委員会委員長 | (平成27年3月まで) |
| 平成27年4月 | 九州文化学園歯科衛生士学院学校評価委員 | (平成28年3月まで) |
| 平成27年5月 | 佐世保市地方創生推進協議会委員 | (現在に至る) |
| 平成27年12月 | 佐世保市総合計画審議会委員 | (現在に至る) |
| 平成28年9月 | 社会福祉法人南高愛隣会 共同生活事業所「佐世保中央運営推進委員」 | (現在に至る) |
| 平成29年4月 | 社会福祉法人南高愛隣会 懲戒審査会委員長 | (現在に至る) |
| 平成29年4月 | 長崎県国土利用計画委員 | (現在に至る) |
| 平成29年4月 | 厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業協力委員 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|---|--|----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 陣内 敦 | じんのうち あつし | 教授 |
| 所属 (学科) | (専攻・コース) | |
| 専攻科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 実践的な造形ワークショップを取り入れた授業によって、保育実践力とコミュニケーション力を培っていきたくて考えています。子どもとしっかり向き合い、子どもの創造性を伸ばすことができる保育者を目指してください。 | | |
| 担当科目 | | |
| 【専攻科】 | 修了研究 | 図画工作研究 |
| 保育内容(表現造形)研究 | 芸術論 | |
| 【保育専攻】 | 卒業研究 | 保育内容演習 (表現造形活動) |
| 保育実践演習(教職実践演習 幼稚園) | 子どもと造形 a b | |
| 専門分野 (学問分野 / 専攻) | | |
| 造形教育 | 芸術学 | |
| 研究テーマ (研究領域) | | |
| 造形を通した子育て支援 | 絵画制作 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和59年3月 | 佐賀大学教育学部特別教員養成課程(美術専攻)卒業 | 学士(教育学) 中学校教諭1級普通免許状(美術)取得 |
| 昭和60年3月 | 佐賀大学教育専攻科(美術工芸専攻)修了 | 高等学校教諭1級普通免許状(美術) |
| 平成元年3月 | 筑波大学大学院芸術研究科修士課程(美術専攻)修了 | 修士(芸術学) |
| 職歴 | | |
| 平成3年4月 | 佐賀大学文化教育学部 非常勤講師(「西洋画」「素描」担当) | (平成16年9月まで) |
| 平成4年4月 | 学校法人松尾学園弘学館中学校・高等学校 教諭(「美術」担当) | (平成6年3月まで) |
| 平成6年4月 | 長崎短期大学幼児教育学科 講師 | |
| 平成9年4月 | 長崎短期大学幼児教育学科 助教授 | |
| 平成16年4月 | 長崎短期大学保育学科 教授 | |
| 平成21年4月 | 長崎短期大学 専攻科長(現在に至る) 教務委員長 | (平成24年3月まで) |
| 平成23年4月 | 長崎短期大学 学長補佐 ALO (現在に至る) | |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学 大学改革委員長 (現在に至る) | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成28年3月 | 絵画私論6「挿絵考」～バラッドのイラスト制作(2)～ | 長崎短期大学研究紀要 第28号 |
| 平成26年3月 | 専攻科保育専攻6年間の軌跡(1) 在学時・修了時・修了後における学習成果の検証結果 (共著) | 長崎短期大学研究紀要 第26号 |
| 平成26年3月 | 絵画私論4「挿絵考」～マザーグースのイラスト制作～ | 長崎短期大学研究紀要 第26号 |
| 平成29年1月 | 個展(インクを用いた絵画) | ギャラリーブチフォルム(大阪市) |
| 平成28年8月 | 磁場展(絵画グループ発表)(平成7年よりほぼ毎年) | 佐賀県立美術館(佐賀市)他 |
| 平成28年9月 | 個展(インクを用いた絵画) | ギャラリーシルクロ(佐賀市) |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成18年 | 長崎短期大学主催のびのびワークショップ(造形を通した子育て支援活動)運営 (毎年開催) | |
| 平成25年 | 社会福祉法人叡智の会 理事 | |

教員紹介

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------------|-----------|--|------------------|-----------------------------|-------------------------|---------------------------------|--------------|--------------------------|---------------------------------|---------|------------------------------------|----------------------------------|---------|---|---------------------------|---------|--------------------------------|------------------------------|---------|------------------|--|
| 氏名 中尾 健一郎 | ひらがな なかお けんいちろう | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) 教授 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所属(学科) 保育学科 | (専攻・コース) 保育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) 子どもたちの健康づくり、遊びや運動、そしてその環境について学生のみなさんと一緒に楽しく体を動かしながら考えています。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当科目 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:33%;">体育研究(専攻科)</td> <td style="width:33%;">生涯スポーツ(専攻科)</td> <td style="width:33%;">卒業研究(保育専攻)</td> </tr> <tr> <td>保育実践演習(教職実践演習 幼稚園)(保育専攻)</td> <td>スポーツ科学(保育専攻・介護福 祉専攻)</td> <td>保育内容演習(健康)(保育専 攻)</td> </tr> <tr> <td>子どもと運動(保育専攻)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | 体育研究(専攻科) | 生涯スポーツ(専攻科) | 卒業研究(保育専攻) | 保育実践演習(教職実践演習 幼稚園)(保育専攻) | スポーツ科学(保育専攻・介護福 祉専攻) | 保育内容演習(健康)(保育専 攻) | 子どもと運動(保育専攻) | | | | | | | | | | | | | | |
| 体育研究(専攻科) | 生涯スポーツ(専攻科) | 卒業研究(保育専攻) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保育実践演習(教職実践演習 幼稚園)(保育専攻) | スポーツ科学(保育専攻・介護福 祉専攻) | 保育内容演習(健康)(保育専 攻) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子どもと運動(保育専攻) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) 体育学 研究テーマ(研究領域) 子どもの健康と運動生活について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所属学会 日本保育学会 日本体育・スポーツ経営学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学歴・学位・免許資格 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:15%;">平成5年3月</td> <td style="width:65%;">筑波大学 修士課程 体育研究科 修了 修士(体育学)</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>平成5年3月</td> <td>教育職員高等学校教諭専修免許状(保健体育)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成5年3月</td> <td>教育職員中学校教諭専修免許状(保健体育)</td> <td></td> </tr> </table> | | | 平成5年3月 | 筑波大学 修士課程 体育研究科 修了 修士(体育学) | | 平成5年3月 | 教育職員高等学校教諭専修免許状(保健体育) | | 平成5年3月 | 教育職員中学校教諭専修免許状(保健体育) | | | | | | | | | | | | | |
| 平成5年3月 | 筑波大学 修士課程 体育研究科 修了 修士(体育学) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成5年3月 | 教育職員高等学校教諭専修免許状(保健体育) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成5年3月 | 教育職員中学校教諭専修免許状(保健体育) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職歴 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:15%;">平成5年4月</td> <td style="width:65%;">筑波大学 筑波大学研究協力部研究協力課 文部技官(体育科学系担当・準研究員)</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>平成10年4月</td> <td>電気通信大学 非常勤講師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成13年4月</td> <td>長崎短期大学 講師</td> <td>(平成16年3月まで)</td> </tr> <tr> <td>平成19年4月</td> <td>長崎短期大学 講師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成22年4月</td> <td>長崎短期大学 准教授(学生委員会 委員長)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年4月</td> <td>長崎短期大学 教授(保育専攻長)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年4月</td> <td>長崎短期大学 教授(保育学科長)</td> <td></td> </tr> </table> | | | 平成5年4月 | 筑波大学 筑波大学研究協力部研究協力課 文部技官(体育科学系担当・準研究員) | | 平成10年4月 | 電気通信大学 非常勤講師 | | 平成13年4月 | 長崎短期大学 講師 | (平成16年3月まで) | 平成19年4月 | 長崎短期大学 講師 | | 平成22年4月 | 長崎短期大学 准教授(学生委員会 委員長) | | 平成24年4月 | 長崎短期大学 教授(保育専攻長) | | 平成28年4月 | 長崎短期大学 教授(保育学科長) | |
| 平成5年4月 | 筑波大学 筑波大学研究協力部研究協力課 文部技官(体育科学系担当・準研究員) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成10年4月 | 電気通信大学 非常勤講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成13年4月 | 長崎短期大学 講師 | (平成16年3月まで) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年4月 | 長崎短期大学 講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年4月 | 長崎短期大学 准教授(学生委員会 委員長) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成24年4月 | 長崎短期大学 教授(保育専攻長) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学 教授(保育学科長) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育研究業績 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:45%; text-align:center;">著書、学術論文等の名称</td> <td style="width:40%; text-align:center;">発行所、発表雑誌等又は発表学会等</td> </tr> <tr> <td>平成20年3月</td> <td>本学における体育・スポーツ経営の課題</td> <td>長崎短期大学研究紀要 第20号 pp.25-38(単著)</td> </tr> <tr> <td>平成22年3月</td> <td>地域の子育て環境に関する考察～地域交流を通して～</td> <td>長崎短期大学研究紀要 第22号 pp.21-38(共著)</td> </tr> <tr> <td>平成25年3月</td> <td>地域交流行事の効果について～椎木町餅つき交流会を事例として～(単著)</td> <td>長崎短期大学研究紀要 第25号 pp.99-109(単著)</td> </tr> <tr> <td>平成27年3月</td> <td>本学卒業生男性保育者の動向・意識の分析と「男性保育者の会」設立に向けた取り組みについて</td> <td>長崎短期大学研究紀要 第27号 pp.1-9</td> </tr> <tr> <td>平成27年3月</td> <td>幼児の豊かな運動生活づくりに向けた環境整備に関する予備的研究</td> <td>長崎短期大学研究紀要 第27号、 pp.11-22</td> </tr> </table> | | | | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 | 平成20年3月 | 本学における体育・スポーツ経営の課題 | 長崎短期大学研究紀要 第20号 pp.25-38(単著) | 平成22年3月 | 地域の子育て環境に関する考察～地域交流を通して～ | 長崎短期大学研究紀要 第22号 pp.21-38(共著) | 平成25年3月 | 地域交流行事の効果について～椎木町餅つき交流会を事例として～(単著) | 長崎短期大学研究紀要 第25号 pp.99-109(単著) | 平成27年3月 | 本学卒業生男性保育者の動向・意識の分析と「男性保育者の会」設立に向けた取り組みについて | 長崎短期大学研究紀要 第27号 pp.1-9 | 平成27年3月 | 幼児の豊かな運動生活づくりに向けた環境整備に関する予備的研究 | 長崎短期大学研究紀要 第27号、 pp.11-22 | | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成20年3月 | 本学における体育・スポーツ経営の課題 | 長崎短期大学研究紀要 第20号 pp.25-38(単著) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年3月 | 地域の子育て環境に関する考察～地域交流を通して～ | 長崎短期大学研究紀要 第22号 pp.21-38(共著) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成25年3月 | 地域交流行事の効果について～椎木町餅つき交流会を事例として～(単著) | 長崎短期大学研究紀要 第25号 pp.99-109(単著) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年3月 | 本学卒業生男性保育者の動向・意識の分析と「男性保育者の会」設立に向けた取り組みについて | 長崎短期大学研究紀要 第27号 pp.1-9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年3月 | 幼児の豊かな運動生活づくりに向けた環境整備に関する予備的研究 | 長崎短期大学研究紀要 第27号、 pp.11-22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

社会における活動等（学会・研究会等の委員・役員／講演会／社会貢献／表彰／他）

| | | |
|---------|-----------------------------------|-------------|
| 平成20年4月 | 全国保育士養成協議会 九州ブロック協議会 事務局 幹事 | (平成24年3月まで) |
| 平成25年3月 | 一般社団法人 日本保育学会第66回大会実行委員会 委員 | |
| 平成25年7月 | 長崎県「スポーツを通じたコミュニティ活性化推進事業」専門部会 委員 | (平成27年3月まで) |
| 平成26年6月 | 長崎県佐々町子ども・子育て会議 委員(副委員長) | (平成28年3月まで) |
| 平成28年5月 | 長崎県相浦警察署協議会 委員 | |

教員紹介

| | | |
|---|---|--------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 花城 暢一 | はなしろ のぶかず | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 学生の皆さんの「夢の実現」を精一杯応援していきたいと思います。宜しくお願いします。 | | |
| 担当科目 | | |
| 相談援助 | 社会的養護 | 卒業研究 |
| 実習指導(保育実習指導) | 保育実習指導 | 保育実践演習(教職実践演習 幼稚園) |
| 子ども家庭援助技術特論 | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 地域福祉 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 地域子育て支援 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本社会福祉学会 | 日本地域福祉学会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成11年3月 | 日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了 修士(社会福祉学) | |
| 職歴 | | |
| 平成13年4月 | 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所(事務局員) | (平成15年3月まで) |
| 平成14年9月 | 日本社会事業大学実習指導講師(非常勤)(見学実習指導) | (平成14年12月まで) |
| 平成15年4月 | 長崎短期大学 保育学科 講師 | (平成24年3月まで) |
| 平成15年4月 | 教務課(平成17年3月まで)(平成18年4月から再任)(平成23年4月～平成25年3月まで教務委員会副委員長) | |
| 平成16年4月 | 就職委員 | (平成25年3月まで) |
| 平成17年4月 | 学生課 | (平成18年3月まで) |
| 平成21年4月 | 入試募集広報委員 | (平成25年3月まで) |
| 平成24年4月 | 長崎短期大学 保育学科 准教授(平成28年4月より保育学科保育専攻長) | (現在に至る) |
| 平成25年4月 | 教務委員長(平成28年3月まで)(平成28年4月～教務委員会副委員長) | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成12年11月 | 『地域を基盤とした福祉教育における社会福祉協議会の支援のあり方 - 氷見市における「保育所・幼稚園内シルバー談話室事業」の評価を通して - 』 | 日本福祉教育・ボランティア学習学会第6回全国大会 |
| 平成19年3月 | 地域の歴史や文化の伝承と保育者の役割 | 長崎短期大学研究紀要 第19号 pp.73-92 |
| 平成20年3月 | 地域の歴史・文化・自然を活用した保育活動の考察 | 長崎短期大学研究紀要 第20号 pp.11-24 |
| 平成22年3月 | 地域の子育て環境に関する考察 | 長崎短期大学研究紀要 第22号 pp.21-38 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成17年12月 | 「総合演習」(光る紙芝居の共同制作) | |
| 平成18年1月 | 「総合演習・卒業研究」(ウォークラリーを通じた地域の自然や歴史・文化を子ども達に伝える試み)(以降、平成19～21、23～28年度も実施) | |
| 平成19年12月 | 「総合演習」(地域の歴史や文化を学ぶ～地域に伝わる伝統的な遊び道具の作成と伝承～) | |
| 平成20年2月 | 「総合演習・卒業研究」(観察手帳の作成)(以降、平成20～21、23～28年度も実施) | |

教員紹介

| | | |
|--|--|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 友廣 憲子 | ともひろ のりこ | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 粘り強くピアノに取り組んでもらえるようにサポートを続けていきたいと思ひます。 気軽に研究室を訪れてくださいね。 | | |
| 担当科目 | | |
| 子どもと音楽 a(ピアノ・楽典) | 子どもと音楽 b(ピアノ・楽典) | 卒業研究 |
| 子どもと音楽 b(ピアノ・楽典) | 保育内容(表現音楽)研究 | 音楽研究 |
| 保育内容(表現音楽活動) | 子どもと音楽 a(ピアノ・楽典) | 子どもと音楽 b(ピアノ・基礎音楽) |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 音楽教育(ピアノ・声楽) | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| ピアノ技術を向上させるためには何が必要か、教育の模索 | | |
| 所属学会 九州公私立大学音楽学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成3年3月 | 大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業 学士(芸術) | |
| 平成3年3月 | 中学校教諭一種免許(音楽)資格取得(平2中1第1711号) | |
| 平成3年3月 | 高等学校教諭一種免許(音楽)資格取得(平2高1第1911号) | |
| 職歴 | | |
| 平成3年4月 | 長崎短期大学 幼児教育学科 | 非常勤講師 (平成4年3月まで) |
| 平成4年4月 | 長崎短期大学 幼児教育学科 | 助手 (平成6年3月まで) |
| 平成6年4月 | 長崎短期大学 幼児教育学科 | 講師 (平成12年3月まで) |
| 平成12年4月 | 長崎短期大学 保育学科 | 講師 (平成18年3月まで) |
| 平成18年4月 | 長崎短期大学 保育学科 | 准教授 (現在に至る) |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成22年11月 | ミュ - ジカル「くるみわり人形」舞台演出(於:佐世保市体育文化館内コミュニティセンタ - 5階ホ - ル) | |
| 平成23年6月 | 長崎短期大学主催 市民公開講座「世界音楽めぐりパ - ト」合唱伴奏 | |
| 平成24年6月 | 長崎短期大学主催 市民公開講座「世界音楽めぐりパ - ト」出演 | |
| 平成25年6月 | 長崎短期大学主催 市民公開講座「世界音楽めぐりパ - ト」出演 | |
| 平成25年8月 | 幼稚園教員3年目研修会「保育に生かす音楽・リズム遊び」講座 | |
| 平成25年9月 | 早岐保育所 職員研修音楽講座 | |
| 平成26年5月 | 原 聖子 友廣憲子主催 ピアノ発表会にて 情熱大陸ピアノ独奏 | |
| 平成27年6月 | 九州文化学園70周年記念長崎短期大学市民公開講座 世界の音楽 ピアノ独奏・2台のピアノ・ピアノ連弾 | |
| 平成27年7月 | 人間社会学部社会福祉学科「保育士」資格講座 | |
| 平成27年7月 | 防犯防止の会「椎木保育園」での防犯活動 | |

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 平成27年8月 | 高齢者活躍人材育成事業技能講習 |
| 平成28年6月 | 長崎短期大学50周年記念市民公開講座「音楽教育の変遷とミニコンサート」 |
| 平成28年11月 | 向陽高校学生への模擬授業「音楽表現あそび」講座 |
| 平成29年6月 | ピアノ発表会で「美女と野獣メドレー」独とピアノ連弾 |

教員紹介

| | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 吉田 美恵子 | よした みえこ | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 専攻科・保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 乳幼児の育ちゆく道に寄り添う、心もち豊かな保育者をめざして | | |
| 担当科目 | | |
| カリキュラム論(保育) | 卒業研究(保育) | 保育実践特別演習(専攻科) |
| 保育内容総論(保育) | 教職実践演習(保育) | カリキュラム特論(専攻科) |
| 保育実習指導(保育) | 実習指導(保育) | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 保育・幼児教育 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 保育の現状と、養成校から実践現場へのトランジション | | |
| 所属学会 | | |
| 日本保育学会 九州保育研究会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和45年3月 | 香蘭女子短期大学保育学科 卒業 | |
| 昭和45年3月 | 保育士資格・幼稚園教諭 種免許取得 | |
| 平成2年1月 | 幼稚園教諭1種免許取得 | |
| 職歴 | | |
| 昭和45年4月 | 私立大野幼稚園勤務 | (昭和48年3月まで) |
| 昭和48年4月 | 佐世保市公立幼稚園勤務 | (平成5年8月まで) |
| 平成16年6月 | 九州文化学園幼稚園勤務 | (平成19年3月まで) |
| 平成19年4月 | 長崎短期大学 保育学科 助教 | (平成20年3月まで) |
| 平成20年4月 | 長崎短期大学 保育学科・専攻科 講師 | (平成24年3月まで) |
| 平成24年4月 | 長崎短期大学 保育学科・専攻科 准教授 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成19年9月 | 保育実習における事前事後指導の展開 | 全国保育養成協議会 分科会 |
| 平成21年3月 | 豊かな環境と関わる中で育つ 感性 | 長崎短期大学研究紀要 第21号 pp.79-88 |
| 平成22年3月 | 地域の子育て環境に関する考察 | 長崎短期大学研究紀要 第22号 pp.21-38 |
| 平成22年10月 | 保育者養成の教育課程とインターンシップ | インターンシップ学会 発表 |
| 平成23年3月 | 保育の現状と養成校から実践現場へのトランジション | 長崎短期大学研究紀要 第23号 pp.9-20 |
| 平成24年8月 | 保育者養成シリーズ(幼稚園教育実習) | 一藝社(共著) |
| 平成25年3月 | 保育の現状と養成校から実践現場へのトランジション | 長崎短期大学研究紀要、第25号 |
| 平成26年3月 | 専攻科保育専攻6年間の軌跡 ～学修成果が保育現場にもたらす有効性～ | 長崎短期大学研究紀要 第26号 |
| 平成26年9月 | ポスター発表「専攻科 保育専攻におけるインターンシップの有効性」 | 日本保育学会 |
| 平成28年2月 | 「新版 保育用語辞典」執筆 | 一藝社(共著) |
| 平成28年3月 | 保育センスを理論化する保育記録の方法と活用 | 長崎短期大学研究紀要 第28号 |

社会における活動等（学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他）

| | | |
|----------|--|--------------|
| 平成20年4月 | 九州保育研究会 研究委員 | (現在に至る) |
| 平成21年1月 | 次世代育成協働フォーラム実行委員 | (現在に至る) |
| 平成21年8月 | 「教員免許更新講習会」講師 | (現在に至る) |
| 平成21年8月 | 「子育てサポート講習」講師 | (現在に至る) |
| 平成21年10月 | 長崎県保育協会「保育所保育指針を読み解く」研修会 講師 県北地域6箇所 | (平成22年1月まで) |
| 平成22年6月 | 長崎県保育協会「保育所保育指針を読み解く」研修会 講師 県北地域5箇所 | (平成23年1月まで) |
| 平成23年1月 | 「保育課程と指導計画の考え方」講師(長崎県教育センター) | |
| 平成23年8月 | 「幼稚園教諭7年目研修」幼児理解と評価について 講師(長崎県教育センター) | |
| 平成24年8月 | 「幼稚園教諭3年目研修」幼児理解と評価について 講師(長崎県教育センター) | |
| 平成25年5月 | 日本保育学会 第66回全国大会実行委員(於 中村学園大学)ポスター発表 座長 | |
| 平成25年7月 | 長崎県私立幼稚園「教師研修会」分科会指導助言者 | |
| 平成26年2月 | 「保育士就職支援研修会」(保育所保育指針を踏まえた保育実践)講師 (長崎県保育協会) | |
| 平成26年5月 | 佐世保市公立幼稚園連合 PTA 総会(於 白南風幼稚園「子どもと歩く道」)講師 | |
| 平成26年5月 | 相浦・東相浦幼稚園でサンドアート | |
| 平成26年12月 | 長崎県幼保連携型認定こども園 審議会委員 | (平成30年11月まで) |
| 平成27年4月 | 佐世保市幼児教育センター 運営委員 | (現在に至る) |
| 平成27年4月 | 全国保育士養成協議会・九州ブロック長崎大会 運営委員 | (平成29年3月まで) |
| 平成28年9月 | 全国保育士養成協議会・九州ブロック長崎大会 分科会司会進行 | |
| 平成27年12月 | 佐世保市立白南風幼稚園の砂場でサンドアート | |
| 平成28年1月 | 佐世保幼児教育・保育研究会研修会「3・4・5歳児の育ち」指導助言・講話 (西海高校記念ホール) | |
| 平成28年2月 | 「新版 保育用語辞典」(一藝社)(共著) | |
| 平成28年5月 | 「させぼわんぱく広場」専攻科保育専攻 ステージ活動 | |
| 平成28年6月 | 海きらら「あまもば」専攻科保育専攻 お楽しみ会活動 | |
| 平成28年9月 | 全国保育士養成協議会・九州ブロック長崎大会 分科会司会進行 | |
| 平成28年11月 | 大分大学教育学部附属幼稚園 保育研究協議会 | |
| 平成29年1月 | 佐世保幼児教育・保育研究会研修会「豊かな心を育てる基礎作り」指導助言・講話 (アルカス SASEBO) | |
| 平成29年3月 | お茶の水大学子どもフォーラム参加 | |

教員紹介

| | | |
|--|--|-----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授 / 准教授 / 講師 / 助教 / 助手) |
| 戸田 恵理子 | とだ えりこ | 講師 |
| 所属 (学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| <p>保育者になるために必要な学びや経験を、ここ 長崎短期大学で。 子どもの心と身体の育ちに携わる、責任ある仕事であるのと同時に大きなやりがいのある保育の仕事。 乳幼児の育ちや、保護者の子育てを優しく支えることができる保育者を目指し、共に学びあいませんか。</p> | | |
| 担当科目 | | |
| 乳児保育 (保育) | 保育内容演習 (保育教材研究 b) | |
| 保育実習指導 | 卒業研究 | ホスピタリティ論(専攻科) |
| 専門分野 (学問分野 / 専攻) | | |
| 保育教材研究 | | |
| 研究テーマ (研究領域) | | |
| 子どもの社会性を育てるあそび スキンシップあそび | | |
| 所属学会 | | |
| 日本保育学科 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成4年3月 長崎短期大学 幼児教育学科 卒業 | | |
| 平成4年3月 幼稚園教諭 二種免許状 | | |
| 平成4年3月 保育士資格 | | |
| 平成20年3月 鳴門教育大学大学院 学校教育専攻 幼年発達支援コース 修了 | | |
| 平成20年3月 幼稚園教諭 専修免許状 | | |
| 職歴 | | |
| 平成4年4月 | 学校法人 九州文化学園幼稚園 勤務 | (平成14年3月まで) |
| 平成14年4月 | 社会福祉法人 和敬会 三川内保育所 勤務 | (平成18年3月まで) |
| 平成19年10月 | 鳴門教育大学学校教育学部 子ども文化論 T.A(ティーチングアシスタント) | |
| 平成20年4月 | 長崎短期大学 保育学科 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成20年3月 | 修士論文「保育者と子ども及び養育者と子ども間の心と体のスキンシップに関する研究」 | 鳴門教育大学大学院 |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成18年9月 | 鳴門市1歳半及び3歳児健康審査の心理判定補助員 | |
| 平成20年9月 | 子育てサポート講集会 講師 | (平成20年度～22年度) |
| 平成23年10月 | 三川内保育園 育児講座 講師 | |
| 平成24年6月 | 認定こども園 東明幼稚園 ファミリデー ～親子で遊ぼう～ 講師 | |
| 平成27年9月 | 高齢者活躍人材育成事業「育児従事者講習会」 講師 | |
| 平成28年2月 | 御船保育所 白蝶講座(保育者・保護者向け講座) 講師 | |
| 平成28年8月 | 菊の香幼稚園 白蝶講座(親子向け講座) 講師 | |
| 平成28年11月 | 島地シティ保育園 白蝶講座(保育者向け講座) 講師 | |

教員紹介

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 澤田 須賀子 | さわだ すがこ | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 専攻科・保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 子どもの心に共感し、寄り添える保育者を目指し、一緒に学んでいきましょう。 | | |
| 担当科目 | | |
| 保育実習指導 | 保育相談支援 | 卒業研究 |
| 保育内容演習(保育教材研究a) | 総合保育技術a1() | 保育実践演習(教職実践演習) |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 保育・幼児教育 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 幼児教育 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本保育学会 | 九州保育研究会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成11年3月 | 長崎短期大学 幼児教育科 卒業 | 幼稚園教諭二種免許状取得、保育士資格取得 |
| 平成12年3月 | 長崎短期大学 専攻科 福祉専攻 卒業 | |
| 平成12年4月 | 介護福祉士取得 | |
| 平成22年3月 | 長崎短期大学 専攻科 保育専攻 卒業 | 学士「教育学」取得(大学学位授与機構) |
| 平成22年3月 | 幼稚園教諭一種免許状取得 | |
| 職歴 | | |
| 平成12年4月 | 学校法人 九州文化学園幼稚園勤務 | (平成20年3月まで) |
| 平成20年9月 | 学校法人 認定こども園 日野幼稚園勤務(インターンシップとして) | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 学校法人 認定こども園 日野幼稚園勤務 | (平成24年3月まで) |
| 平成24年4月 | 長崎短期大学 保育学科保育専攻 助教 | (平成25年3月まで) |
| 平成25年4月 | 長崎短期大学 保育学科保育専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成25年3月 | 保育の現状と養成校から実践現場へのトランジション | 長崎短期大学研究紀要、第25号 |
| 平成26年3月 | 専攻科 保育専攻 6年間の軌跡(2) 一学修成果が保育現場にもたらす有効性一 | 長崎短期大学研究紀要、第26号 |
| 平成27年3月 | スキルアップ(ピア)講座の教育的効果に関する一考察 | 長崎短期大学研究紀要 第27号 (共著) |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成24年 | させぼわんぱく広場(現在に至る) | |
| 平成24年 | のびのびワークショップ(現在に至る) | |
| 平成24年 | 育児講座～楽しい親子あそび～ 市内保育所・幼稚園(現在に至る) | |
| 平成24年6月 | 認定こども園 東明幼稚園 育児講座 | |
| 平成25年 | 読み語り ロココ+として市内の施設・イベントで活動(現在に至る) | |
| 平成25年 | 西海国立公園平戸・九十九島地区パークボランティア(現在に至る) | |
| 平成26年 | ミニさせぼ運営委員会(現在に至る) | |
| 平成26年 | 佐世保市内小学校 読み語り活動(現在に至る) | |
| 平成27年8月 | 認定こども園 菊の香幼稚園 たんぼぼ教室 親子で遊ぼう 育児講座 | |
| 平成28年6月 | 社会法人つばさ会 あさひ保育園 育児講座 | |

教員紹介

| | | |
|--|---|----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 座間味 愛理 | ざまみ あいり | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| <p>哲学者のアランは、「幸福とは、自分の価値を知ってくれている人の傍にることである」と言っています。心理学を通して、人のもつ力、価値を理解する多くの視点を学ぶことができます。目の前にいる人や自分の価値を知る授業を一緒に作りあげていきましょう。</p> | | |
| 担当科目 | | |
| 保育の心理学 (保育) | 保育の心理学 (保育) | 卒業研究 (保育) |
| 保育相談 | 臨床心理学 | 修了研究 ~ (保育専攻科) |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 臨床心理学 | 発達心理学 | 障害児保育・教育 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 学生相談支援 | 心理療法 | 心理リハビリテーション |
| 所属学会 | | |
| 日本心理臨床学会 | 日本リハビリテーション心理学会 | 西日本心理劇学会 |
| 日本教育心理学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成22年3月 | 九州大学大学院人間環境学府 実践臨床心理学専攻 修了(修士号取得) | |
| 平成23年4月 | 日本心理臨床学会認定 臨床心理士 取得 第23588号 | |
| 平成24年3月 | 九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース博士 後期課程単位取得満期退学 | |
| 職歴 | | |
| 平成20年4月 | 九州大学人間環境学附属総合臨床心理センター相談員 | (平成25年度まで) |
| 平成22年4月 | 長崎国際大学 学生相談室 非常勤カウンセラー | (平成24年度まで) |
| 平成25年4月 | 九州大学大学院人間環境学府 学術協力研究員 | (平成25年度まで) |
| 平成26年4月 | 長崎短期大学 保育学科保育専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成23年9月 | 「発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の検討(3)-卒業生を対象とした抑うつ傾向・適応感の追跡調査から-」 | 第30回日本心理臨床学会発表(共著) |
| 平成24年12月 | 「強迫的構えを有する大学生への臨床動作面接における自己対峙的体験と他者対峙的体験」 | 日本リハビリテーション心理学会 第39巻2号(単著) |
| 平成25年1月 | 「発達障害を有する青年の適応と課題集団心理療法-もくもくグループの終結者を対象とした追跡調査から-」 | 九州大学総合臨床心理学研究 第4号(共著) |
| 平成25年1月 | 「The Affective World of Autism:-A Review of Contemporary Evidence-」 | 九州大学総合臨床心理学研究 第4号(共著) |
| 平成25年3月 | 『サポートナビゲーション』 | 北九州市立大学学生相談室(共著) |
| 平成27年3月 | 「保育者養成校に対する地域ニーズに関する調査研究 保育者の成長プロセスに着目した養成校の在り方の検討」 | 長崎短期大学紀要 第27号(共著) |

| | | |
|---|--|----------------------|
| 平成27年7月 | New Direction of self-control (as a JIKO-control) of Dohsa-hou (Japanese original psychotherapy using body-movement technique) | 第14回 ヨーロッパ心理学会発表(共同) |
| 平成27年7月 | Self-confronting experience and Therapist-confronting experience in Dohsa-hou for student with Obsessive-compulsive. | 第14回 ヨーロッパ心理学会(単独) |
| 平成27年11月 | 「発達臨床における動作法 青年期 - 学生相談における主訴と動作法の導入の工夫 -」 | 心理リハビリテーション研究所(単著) |
| 平成28年3月 | 「保育者養成校に対する地域ニーズに関する調査研究(2) 未就学児をもつ保護者のサポートニーズと保育の専門性に着目して」 | 長崎短期大学紀要 第28号(共著) |
| 平成28年3月 | 『学生サポートブック～教職員ができるサポート～授業編～』 | 長崎国際大学・長崎短期大学(共著) |
| 平成28年7月 | Introduction to Dohsa-hou (Japanese original psychotherapy using a body-movement technique)-how the somatic-psychology contributes to problems in clients- | 第31回 国際心理学会発表(共同) |
| 平成29年3月 | 『学生サポートブック～教職員ができるサポート第2号～入学前・入学期編～』 | 長崎国際大学・長崎短期大学(共著) |
| 平成29年3月 | 「「茶道文化」教育の教育効果に関する探索的研究 ホスピタリティの育成に着目して」 | 長崎短期大学紀要 第29号(共著) |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成21年4月 | 福岡県豊前市教育委員会就学指導委員 | (平成25年度まで) |
| 平成22年3月 | 九州大学大学院人間環境学府実践臨床心理学専攻 修士論文 学府長賞奨励賞 受賞 | |
| 平成25年4月 | 日本リハビリテーション心理学会 研究奨励賞 受賞 | |

教員紹介

| | | |
|---|---|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 小浦 康平 | こうら こうへい | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 相手の立場をよく考え、自分が出来ることをよく知っていれば、大きな失敗はしない。 | | |
| 担当科目 | | |
| コンピュータ演習などの情報教育科目 卒業研究 | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| コンピュータ関連(Webデザイン、DTP、Office) 化学 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 短大生対象のOffice教授法 IRシステムの活用法 | | |
| 所属学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成11年3月 | 東洋大学大学院応用化学専攻博士前期課程卒業 修士(工学) | |
| 平成14年12月 | 危険物取扱者甲種取得 | |
| 平成17年2月 | Webデザイナーコース(Macromedia Authorized Training)及び、デザイン概論コース修了(ヒューマンアカデミー) | |
| 平成26年5月 | 日本情報処理検定協会 試験委員証取得 | |
| 職歴 | | |
| 平成11年4月 | 星光PMC株式会社入社 | |
| 平成21年3月 | 星光PMC株式会社退社 | |
| 平成26年3月 | スコープジャパン株式会社退社 | |
| 平成26年4月 | 長崎短期大学 講師 (現在に至る) | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成27年2月 | 「共同教学IRシステムを活用し学生を視点とした学習成果の測定について」発表 | 大学間連携共同教育推進事業 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成26年5月 | 日本情報処理検定協会 試験委員 | (現在に至る) |
| 平成27年4月 | 短期大学コンソーシアム九州研究センター 研究員 | (現在に至る) |
| 平成29年1月 | 佐世保市少年科学館星きらり「チャレンジ科学講座」講師 | |

教員紹介

| | | |
|--|---|--------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 藤野 正和 | ふじの まさかず | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 保育専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 子どもの心の発達や障害理解を通して、学生のみなさんとともに学び、さまざまなことを一緒に考えていきたいと思えます。 | | |
| 担当科目 | | |
| 障がい児保育 | 保育内容演習(人間関係) | 子どもと暮らし |
| 卒業研究 | 保育内容(人間関係)研究 | 修了研究 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 臨床心理学 | 発達心理学 | 特別支援教育 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 障害児への心理的支援 | 乳幼児期の認知発達 | インクルーシブ教育 |
| 所属学会 | | |
| 日本心理臨床学会 | 日本特殊教育学会 | 日本発達心理学会 |
| 日本リハビリテーション心理学会 | 日本教育心理学会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成22年3月 | 別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻修了 修士(文学) | |
| 平成25年4月 | 日本臨床心理士会 臨床心理士 資格取得 | |
| 平成26年3月 | 九州大大学院人間環境学府人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース 単位取得退学 | |
| 職歴 | | |
| 平成26年4月 | 九州大大学院人間環境学府 学術協力研究員 | (平成27年3月まで) |
| 平成26年4月 | 中村学園大学短期大学部幼児保育学科 非常勤講師 | (平成27年3月まで) |
| 平成27年4月 | 長崎短期大学保育学科保育専攻 助教 | (平成28年3月まで) |
| 平成29年4月 | 長崎短期大学保育学科保育専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成25年1月 | 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の検討 グループ参加者に対する予後の調査 | 九州大学総合臨床心理研究 第4巻 pp.11-17 2013 |
| 平成28年3月 | 成人脳性まひ者の心理リハビリテーションキャンプにおける変化 ICFの障害概念からの考察 | 長崎短期大学研究紀要 第28号 pp.19-30 |
| 平成25年12月 | 重症心身障害児に対する主体性の促進をめざした動作法の援助 | 日本リハビリテーション心理学会 第39回 |
| 平成26年12月 | West 症候群を有する幼児に対する動作法の適用 | 日本リハビリテーション心理学会 第40回 |
| 平成29年3月 | 発達障害特性を有する児童における他者との関係性の違いが対人葛藤場面に与える影響 | 日本発達心理学会 第28回 (ポスター) |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成27年5月 | 長崎県特別支援教育地域支援事業 外部専門家講師 | (現在に至る) |
| 平成28年4月 | 長崎県佐世保市公立幼稚園「特別支援幼児通級教室」開設に係る助言及び研修 講師 | (現在に至る) |
| 平成28年9月 | 長崎県佐世保市公立保育所・幼稚園合同研修会 講師 | |

教員紹介

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 大橋 和博 | おおはし かずひろ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 変化の激しい現代社会における福祉的課題を注視し、人を支援することとは何かを追究していきたい。保育や介護をより広い視野から見るができる人材育成に寄与することを目標としている。 | | |
| 担当科目 | | |
| 児童家庭福祉 介護の基本 C | 社会的養護内容 子ども家庭福祉特論 | 人間の尊厳と自立 障害福祉論 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| こども家庭福祉 | 高齢者福祉 | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 児童虐待 | 社会的養護 | 介護福祉 |
| 所属学会 | | |
| 日本子ども虐待防止学会 | 日本介護福祉学会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和57年3月 | 南山大学経済学部経済学科 卒業 | |
| 昭和60年3月 | 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 卒業 | |
| 職歴 | | |
| 昭和60年4月 | 長崎県職員に採用され、中央児童相談所に配属(心理判定員) | |
| 昭和63年4月 | 対馬福祉事務所(生活保護ケースワーカー) | |
| 平成3年4月 | 高齢福祉援護課 | |
| 平成6年4月 | 佐世保児童相談所(児童福祉司) | |
| 平成9年4月 | 佐世保児童相談所(心理判定員) | |
| 平成10年4月 | 県立光が丘学園(児童指導員) | |
| 平成13年4月 | 佐世保身体障害者更生相談所 身体障害者福祉司 | |
| 平成17年4月 | 佐世保児童相談所(児童心理司) | |
| 平成19年4月 | 佐世保こども・女性・障害者支援センター(児童心理司) | |
| 平成22年4月 | 長崎こども・女性・障害者支援センター(児童福祉司) | |
| 平成22年10月 | 長崎こども・女性・障害者支援センター(精神保健福祉センター部門) | |
| 平成25年4月 | 長崎短期大学 保育学科介護福祉専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成17年度 | 『児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究』の分担研究 『要保護児童の一時保護に関する調査研究』(分担研究者 安部計彦)への参画 | 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業(平成19年度まで) |
| 平成18年度 | 『児童相談所一時保護所の運営に関する調査研究』(主任研究者 安部計彦)への参画 | こども未来財団の調査研究 |

| | | |
|---|--|---|
| 平成27年度 | 『講演会と体験学習による介護の理解促進』 | 介護福祉養成施設における地域の介護人材育成等に関するモデル調査研究事業 報告書 |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成7年 | 九州子どもの福祉臨床と家族支援研究会(子どもの家族支援のための研修会大会実行委員会)参画 | (現在に至る) |
| 平成21年2月 | 第14回子どもと家族支援のための研修会 | 事務局長 |
| 平成27年4月 | 児童養護施設若竹の家 | 苦情解決第三者委員 |
| 平成29年4月 | 佐世保市幼児教育センター | 運営委員会 委員 |

教員紹介

| | | |
|---|---|-------------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 小嶋 栄子 | こじま えいこ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 日本語を学ぶことは、大人でも子どもでも、日本人でも外国人でもその基礎は同じです。一緒に日本語を学びながら、その先を見つめましょう。きっとあなたが探している未来が見えてきます。 | | |
| 担当科目 | | |
| Awe Some Sasebo | 実践 Awesome Sasebo | アカデミック・ライティング |
| | | 外国語 . . . (日本語) |
| 外国語検定 (日本語) | 日本語 | ギャップイヤー事前指導 |
| ギャップイヤー事後指導 | 文書資料講読 | 保育内容(言葉)研究 |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 言語学(日本語) | 日本語教育学 | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 留学生に対する日本語教育 | 日本語教授法 | 短期大学の到達目標 |
| 所属学会 | | |
| 日本高等教育学会 | 大学教育学会 | 日本総合社会科学会 |
| 日本語文法研究会 | 日中言語対照研究会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和51年3月 | 埼玉大学教育学部中学校課程卒業(教育学士取得) | |
| 昭和54年3月 | 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了(教育学修士取得) | |
| 平成元年3月 | 東京外国語大学外国語学部卒業(文学士取得) | |
| 平成4年3月 | 東京外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了(修士(文学)取得) | |
| 平成10年3月 | 大東文化大学大学院文学研究科博士後期課程修了(博士(日本文学)取得) | |
| 職歴 | | |
| 平成16年4月 | 長崎短期大学英語科 助教授 (平成19年4月～ 准教授) | |
| 平成21年4月 | 長崎短期大学英語科 教授 | |
| 平成25年4月 | 長崎短期大学国際コミュニケーション学科 教授 | (現在に至る) |
| 平成18年4月 | 長崎短期大学 図書館長 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成20年3月 | 『手話通訳者のための言語学と人権』 | 文理閣 (共著) |
| 平成23年3月 | 短期大学教育の到達目標の設定と学生調査 | 『短期大学コンソーシアム九州紀要』vol.1 (共著) |
| 平成24年9月～ | 「ことばの砂場」連載(1回～8回) | 『手話通訳問題研究』No.121～No.128 全国手話通訳問題研究会 |
| 平成26年3月 | 短期大学の学生調査3 | 長崎短期大学研究紀要、第26号(共著) |
| 平成28年3月 | 事例報告 「日本語教授法」におけるアクティブラーニングの試み 日本事情を留学生に教える | 『短期大学コンソーシアム九州紀要』vol.6 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成11年4月 | 日本手話通訳士協会試験問題解答委員(国語) | (現在に至る) |

| | | |
|----------|-----------------------------|-------------|
| 平成16年4月 | 要筆記通訳指導者養成等事業養成指導研究委員会委員長 | (平成19年3月まで) |
| 平成21年10月 | 短期大学コンソーシアム九州研究センター研究員 | (現在に至る) |
| 平成21年4月 | 全国要約筆記者認定事業試験委員(日本語) | (平成28年3月まで) |
| 平成24年4月 | 短期大学コンソーシアム九州推進委員会成果検証部会 委員 | (現在に至る) |
| 平成24年7月 | 佐世保市国際交流推進委員会 副委員長 | (現在に至る) |
| 平成25年4月 | 佐世保地域留学生支援交流推進協議会運営委員会 委員 | (平成27年3月まで) |
| 平成27年4月 | 佐世保地域留学生支援交流推進協議会運営委員会 委員長 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|--|---|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 西村 伊知恵 | にしむら いちえ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 介護のこと、生きるということについて共に学びましょう。介護福祉士をめざすあなたを応援します。 | | |
| 担当科目 | | |
| 認知症の理解 | こころとからだのしくみ | 医療的ケア |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 高齢者の介護 | 認知症ケア | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 地域包括ケアシステムにおいて必要な人材育成にOGナースを活用するしくみづくり | 看護と介護に共通するものとの違い 倫理観に焦点をあてて | |
| 所属学会 | | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和50年5月 | 看護師免許取得(登録番号273977号) | |
| 昭和51年5月 | 保健師免許取得(登録番号37592号) | |
| 平成22年6月 | 社団法人日本看護協会認定看護管理者資格認定(902号) | |
| 平成23年3月 | 日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科卒(福祉経営学学士) | |
| 平成23年3月 | 社会福祉主事任用資格取得 | |
| 平成27年10月 | 公益社団法人日本看護協会認定看護管理者資格認定更新 | |
| 職歴 | | |
| 昭和51年4月 | 佐世保市看護師採用(佐世保市立総合病院勤務) 内科病棟、ICUで看護業務に従事 | |
| 昭和54年4月 | 佐世保市立看護専門学校へ教員として異動 看護基礎教育に従事 | |
| 平成7年4月 | 佐世保市立総合病院へ主任看護師として異動 内科・泌尿器科病棟で看護業務に従事、合わせて教育委員会に所属し卒業後教育を担当 | |
| 平成13年4月 | 病棟師長に昇任 病棟管理等看護管理に従事 教育委員長として院内看護師の教育及び研修を担当 | |
| 平成15年4月 | 看護管理師長に昇任 病棟管理及び担当階の病棟師長への指導、平成16年からは看護部にて院内病床管理担当 | |
| 平成18年4月 | 副看護部長に昇任 教育担当及び6階から8階までの病棟管理指導 | |
| 平成19年4月 | 佐世保市立総合病院事務局主幹(看護専門学校へ教務課長)として異動 看護学校運営に関する管理全般 | |

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 平成20年4月 | 佐世保市立総合病院事務局副理事(看護専門学校副校長)に昇任 看護学校管理 | |
| 平成25年4月 | 佐世保市立総合病院事務局理事(看護専門学校校長)に昇任 看護学校管理 | |
| 平成26年4月 | 佐世保市機構の変更により佐世保市保健福祉部理事兼看護専門学校校長 平成29年3月退職 | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 平成18年7月 | 長崎県看護協会副会長 | (平成26年6月まで) |
| 平成19年8月 | 長崎県看護学校協議会副会長 | (平成22年7月まで) |
| 平成21年9月 | 第41回日本看護学会 看護教育 学術集会準備委員長 | (事業終了まで) |
| 平成22年5月 | 佐世保市立総合病院新人看護職員研修運営委員 | (平成26年3月まで) |
| 平成27年4月 | 長崎県看護キャリア支援センター運営委員 | (平成29年3月まで) |
| 平成27年4月 | 独立行政法人労働者健康福祉機構長崎労災病院治験審査委員 | (平成29年3月まで) |
| 平成26年6月 | 公益社団法人日本看護協会長表彰 | |

教員紹介

| | | |
|--|--|-------------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 藤島 法仁 | ふじしま のりひと | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 私たちの生活はさまざまな制度とつながりをもっています。家族や地域が変化する中で、子どもや高齢者、障害者の福祉を支える制度のあり方を考えます。 | | |
| 担当科目 | | |
| 社会の理解 | (介護福祉) 福祉文化(介護福祉) | 社会福祉(保育) |
| 家庭支援論 | (保育) | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 高齢者福祉 | 子ども家庭福祉 | 社会福祉 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 高齢者福祉 | 地域福祉 | 社会福祉 |
| 所属学会 | | |
| 日本社会福祉学会 | 日本地域福祉学会 | 福祉社会学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成12年3月 | 博士(水産学) | |
| 平成17年5月 | 専門社会調査士 | |
| 平成21年3月 | 社会福祉士 | |
| 職歴 | | |
| 平成19年4月 | ILP お茶の水医療福祉専門学校 講師 | |
| 平成23年9月 | 長崎短期大学保育学科介護福祉専攻 講師 | |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学保育学科介護福祉専攻 准教授 | (現在に至る) |
| 平成29年4月 | 長崎短期大学保育学科介護福祉専攻長 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成25年3月 | 「在宅一人暮らし高齢者の自立生活支援に関する研究～互助と共助を活発化させる方法、要件に注目して～」 | 長崎短期大学『長崎短期大学研究紀要』第25号(単著) |
| 平成25年4月 | 『ソーシャルワーク演習のための88事例』(共著) | 中央法規(共著) |
| 平成26年3月 | 「在宅高齢者の個別支援における特別養護老人ホームの役割と課題に関する基礎的研究」 | 長崎短期大学『長崎短期大学研究紀要』第26号(単著) |
| 平成28年3月 | 「介護予防・日常生活支援総合事業の展開と課題 - 長崎県佐々町を事例に - 」 | 長崎短期大学『長崎短期大学研究紀要』第28号(単著) |
| 平成29年3月 | 「介護予防・日常生活支援総合事業における新たなサービスの開発と利用に関する一考察 - 長崎県佐々町を事例に - 」 | 日本社会分析学会『社会分析』44号(特集:社会福祉と共同性体)(単著) |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成26年3月 | 全国老人福祉施設協議会の平成25年度研究助成を受け、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県社会福祉協議会と協働して「地域包括ケアシステムづくりにおける特別養護老人ホームの役割と課題に関する研究報告書」を作成 | |
| 平成26年6月 | 長崎短期大学市民公開講座において「2015年介護保険制度改正の論点と介護予防活動の取り組みについて」を報告 | |
| 平成26年5月 | 佐世保市市民協働推進委員会委員 | (現在に至る) |
| 平成29年4月 | 佐世保・県北圏域介護人材確保対策連絡協議会委員 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 井上 美代子 | いのうえ みよこ | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 「継続は力なり」 受験生の皆さん自分を信じて自分らしくチャレンジしてください。 | | |
| 担当科目 | | |
| 発達と老化の理解 ・ (介護) | 障害の理解 (介護) | こころとからだ B ・ C ・ D |
| 介護実習 ・ (介護) | 医療的ケア A・B・C | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 介護福祉 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 地域研究 | 社会学 | 教育学 |
| 所属学会 | | |
| 社会学会 | 介護福祉教育学会 | 社会福祉学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和59年3月 | 長崎県立佐世保看護学校 卒業 (厚生労働省 No.第507797号) | |
| 平成10年3月 | 東洋大学 社会学部 第2部 社会学科 卒業 | |
| 平成14年9月 | 東洋大学大学院 社会学研究科 福祉社会システム専攻 修士課程 修了 | |
| 職歴 | | |
| 昭和52年8月 | 洪庵記念会 緒方病院 看護業務 | (昭和56年3月まで) |
| 昭和59年4月 | 長崎労災病院 看護業務 | (昭和60年2月まで) |
| 昭和60年5月 | 横浜南共済病院 看護業務 | (昭和62年3月まで) |
| 平成7年11月 | 船戸病院 看護業務 | (平成10年10月まで) |
| 平成10年4月 | 財団法人国民保健会附属 四谷診療所 看護業務 | (平成15年8月まで) |
| 平成15年9月 | 長崎短期大学 専攻科福祉専攻 講師 | (平成16年8月まで) |
| 平成16年9月 | 長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 講師 | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 長崎短期大学 保育学科 介護福祉専攻 准教授 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成19年1月 | 西海漁業地域における高齢者の健康像と生活習慣 | 長崎国際大学論叢 第7巻 pp.175-186 |
| 平成20年3月 | 初年次教育の現状と課題 (A 大学社会福祉学科一年次アンケートから) | 長崎国際大学論叢 第9巻 pp.23-32 |
| 平成22年3月 | 佐世保市の住環境課題に対応した地域福祉の推進に関する研究「斜面居住地から佐世保をみる市民の会」 | 長崎国際大学社会福祉学会 研究紀要 第6号、pp.22-31 |
| 平成24年3月 | 佐世保西地区総合型地域スポーツ・文化クラブの活動 | 長崎短期大学研究紀要 第24号 pp.75-89 |
| 平成26年3月 | 介護学生の実習に関する状況調査 | 長崎短期大学研究紀要 第26号 pp.107-116 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成21年5月 | ひと・まち育む元気プラン市民会議 | (現在に至る) |
| 平成21年6月 | 佐世保西地区総合型スポーツクラブ設立準備委員会 運営委員 | (現在に至る) |
| 平成22年4月 | 長崎県介護保険審査会委員 | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|--|--|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 北村 光子 | きたむら みつこ | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 介護は、人と人とのつながりです。人を大切にしてケアと向かい合ってください。 | | |
| 担当科目 | | |
| 介護の基本 A・B(介護) | 生活支援技術 A・D(介護) | 介護過程 . . . (介護) |
| 介護実習 . (介護) | 介護総合演習 . (介護) | 世代間交流論(保育専攻科) |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 介護福祉 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 介護福祉 | 福祉文化 | |
| 所属学会 | | |
| 日本介護福祉学会 | 日本介護福祉教育学会 | 社会福祉学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成18年3月 | 長崎純心大学大学院博士前期課程 福祉文化研究科 | 学術・福祉修士 |
| 平成2年3月 | 介護福祉士 | |
| 平成11年4月 | 介護支援専門員(ケアマネジャー) | |
| 平成14年4月 | 社会福祉士 | |
| 職歴 | | |
| 平成12年4月 | 長崎国際大学 社会福祉学科 助手 | |
| 平成15年3月 | 長崎短期大学 保育学科 講師 (教務委員会所属) | |
| 平成22年4月 | 長崎短期大学 保育学科 准教授 (教務委員会所属) | 平成27年度まで) |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成24年9月 | 介護実習における良好な環境(2) - 人的環境を通して - | 日本介護福祉教育学会 共同発表 |
| 平成25年3月 | 福祉文化と介護福祉教育 - 佐世保市の地域文化に学ぶ - | 長崎短期大学紀要 第25号 |
| 平成25年3月 | 介護実習における良好な環境 | 長崎短期大学紀要 第25号(共著) |
| 平成25年8月 | 介護実習評価基準の検討-コミュニケーション力に関して- | 日本介護福祉教育学会 共同発表 |
| 平成26年3月 | 介護実習の評価基準-コミュニケーション項目に対する視点- | 長崎短期大学紀要 第26号(共著) |
| 平成28年3月 | 介護福祉教育に対する福祉文化の影響 - 佐世保市俵ヶ浦町の地域文化に学ぶ - | 長崎短期大学紀要 第28号 |
| 平成29年2月 | 小学生に対する介護福祉講座 - かいごへの気持ちを考える - | 日本介護福祉教育学会 発表 |
| 平成29年3月 | 介護福祉のイメージアップ - 小学校講座を通じた福祉教育 - | 長崎短期大学紀要 第29号 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成12年7月 | 高等学校などでの講師(福祉関係) | (現在に至る) |
| 平成17年7月 | 介護技術講習会指導者・主任指導者 | (平成27年7月まで) |

| | | |
|----------|---------------------------------|--------------|
| 平成19年3月 | 介護福祉士国家試験実地試験委員 | (平成27年まで) |
| 平成21年9月 | 地域福祉施設の介護職員に対する「日常生活介護技術」講習及び実技 | |
| 平成22年7月 | ICFにおけるプラス思考の考え方と報告 講演 | |
| 平成23年10月 | 地域福祉施設の介護職員に対する介護福祉士国家試験対策研修・講義 | (平成27年12月まで) |
| 平成25年8月 | 介護福祉実習指導者講習会講師 | (現在に至る) |
| 平成26年7月 | 介護イメージアップの啓発活動(小学校出前講座) | (現在に至る) |

教員紹介

| | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 宮元 預羽 | みやもと よはね | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 実践的な授業を心がけます。しかし、卒業試験や国家試験のポイントも押さえていきたいと思います。 | | |
| 担当科目 | | |
| 生活支援技術 A | 生活支援技術 D | コミュニケーション A |
| コミュニケーション B | 介護の基本 C, | 国家試験対策講座(領域「介護」「こころとからだ」) |
| 介護実習 | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 介護福祉学 | 社会福祉学 | 心理学 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 介護負担感の背景(心理学・社会福祉学) | 介護に関わる虐待や殺人の背景(心理学・介護福祉学) | |
| 所属学会など | | |
| 日本介護福祉学会 | 日本介護福祉教育学会 | 日本精神保健社会学会 |
| 日本犯罪心理学会 | 日本社会福祉学会 | 日本介護福祉士会 |
| 日本ソーシャルワーカー協会 | 日本精神保健福祉士協会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成6年4月 | 介護福祉士(第A-14739) | |
| 平成13年3月 | 介護支援専門員(沖縄県第47000343号) 現在未更新 | |
| 平成18年4月 | 精神保健福祉士(第26511号) | |
| 平成21年3月 | 目白大学大学院 修士(心理学) | |
| 平成21年4月 | 社会福祉士(第113869号) | |
| 職歴 | | |
| 平成19年4月 | 東京福祉専門学校 専任講師 | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 東京国際福祉専門学校 専任講師 | (平成24年3月まで) |
| 平成24年4月 | 大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科 助教 | (平成27年3月まで) |
| 平成27年4月 | 長崎短期大学保育学科介護福祉専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成28年4月 | アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック | 株式会社みらい |
| 平成28年5月 | 2017 介護福祉士国家試験過去問解説集(省略) | 中央法規出版 |
| 平成28年6月 | 2016 年度介護福祉士全国統一模擬試験(第1回) | 中央法規出版 |
| 平成28年9月 | 2016 年度介護福祉士全国統一模擬試験(第2回) | 中央法規出版 |
| 平成28年9月 | 「介護に関連する殺人事件における加害者の悲観の感情について」 | 第24回日本介護福祉学会大会(単著) |
| 平成29年2月 | 「アクティブラーニングによる介護過程の教材開発に関する研究(その1)」 | 第23回日本介護福祉教育学会(共著) |
| 平成29年3月 | 介護殺人事件の被害者加害者の行動特徴より防止策を検討する(2) | 長崎短期大学研究紀要第29号(共著) |
| 平成29年3月 | 介護福祉学生は実習記録において何を指導されているのか(共著) | 長崎短期大学研究紀要第29号(共著) |

社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他)

平成11年度 沖縄県介護福祉士会:事務局

平成20年度 東京都介護支援専門員研究協議会 平成20年度調査研究事業

平成23年度 介護福祉士国家試験実地試験委員 (平成25年度、27年度)

教員紹介

| | | |
|---|-----------------------------|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 萩原 宏美 | はぎはら ひろみ | 講師 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 保育学科 | 介護福祉専攻 | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 茶道文化の授業では、茶道に関する基本的な知識を学び、思いやりの心や物を大切にする心を培い、社会生活で役立つマナーや作法を身につけます。 | | |
| 担当科目 | | |
| 茶道文化 . . . | | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 茶道文化教育研究 | | |
| 所属学会 | | |
| 鎮信流松洽会会員 | 鎮信流佐世保支部松清会会員 | 東池坊東茶古典セミナー佐世保支部 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 昭和53年3月 | 九州文化学園短期大学幼児教育学科卒業(現長崎短期大学) | 鎮信流初伝 |
| 昭和55年9月 | 鎮信流中伝 | |
| 平成10年7月 | 東池坊中伝 | |
| 平成10年9月 | 東池坊奥伝 雅号:観宏 亭名:瑞樹 | |
| 平成10年12月 | 鎮信流七通 茶号:松洋 | |
| 平成12年6月 | 鎮信流教授法免許状:教師 | |
| 平成15年11月 | 東池坊茶花3級教授 | |
| 職歴 | | |
| 昭和53年4月 | 九州文化学園幼稚園教諭 | (平成9年3月まで) |
| 平成9年4月 | 長崎短期大学 図書館 | (平成18年3月まで) |
| 平成18年4月 | 長崎短期大学 保育学科 講師 | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 長崎短期大学 保育学科介護福祉専攻 講師 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成18年4月 | 茶道文化 . . . 【学習帳】 | 長崎短期大学 茶道文化 |
| 平成29年3月 | 研究紀要「茶道文化」教育の教育効果に関する探索的研究 | 長崎短期大学 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成9年 | 茶道大会および学園祭等の茶席の企画運営、学生指導 | (現在に至る) |
| 平成15年5月 | 茶と花の融合展全国大会 | |
| 平成18年5月 | 茶と花の融合展 | |
| 平成21年7月 | 四季の茶花と茶の融合展 | |
| 平成22年3月 | 東茶古典セミナー佐世保支部総会 | 和菓子作り講習会 |
| 平成23年7月 | 四季の茶花と茶の融合展 | |
| 平成24年3月 | 東茶古典セミナー佐世保支部総会 | 和菓子作り講習会 |
| 平成25年2月 | 東茶古典セミナー佐世保支部総会 | 和菓子作り講習会 |
| 平成27年2月 | 東茶古典セミナー佐世保支部総会 | 和菓子作り講習会 |
| 平成27年5月 | 四季の茶花と茶の祭典 | |

平成28年3月 東茶古典セミナー佐世保支部総会 茶杓作り講習会
平成28年4月 松清会総会 心月公忌
平成28年5月 ハイスクール茶会 薄茶席
平成29年1月 松清会初釜
平成29年2月 東茶古典セミナー佐世保支部総会 主菓子作り講習会
平成29年3月 松清会総会 心月公忌
平成29年4月 鎮信流松治会全国大会

教員紹介

| | | |
|------------------------|--|-----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 中野 明人 | なかの あきひと | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | “実るほど頭を垂れる稲穂かな” 常に謙虚でありたいと思います。 | |
| 担当科目 | | |
| 衛生法規(食物科製菓) | 心理学(食物科) | 製菓店経営概論(食物科製菓) |
| キャリアガイダンス(国コミ) | 心理学概論(国コミ) | キャリアプランニング(国コミ) |
| Awesome Sasebo ~ (国コミ) | ギャップイヤー事前指導(国コミ) | ギャップイヤー事後指導(国コミ) |
| 卒業研究(国コミ) | 日本国憲法(保育学科) | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 法学(憲法) | 心理学(臨床心理学) | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| スクールカウンセリング | 犯罪被害者支援 | |
| 所属学会 | | |
| 日本被害者学会 | 日本心理臨床学会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成3年3月 | 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了(法学修士) | |
| 平成16年3月 | 放送大学大学院文化科学研究科修士課程臨床心理プログラム(学術修士) | |
| 平成24年3月 | 福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理専攻 博士課程後期 満期修了 | |
| 職歴 | | |
| 平成4年4月 | 長崎短期大学 英語科 専任講師 | |
| 平成9年4月 | 長崎短期大学 英語科 助教授 | |
| 平成16年4月 | 長崎短期大学 食物科 助教授 | |
| 平成19年4月 | 長崎短期大学 食物科 教授、食物科学科長 | |
| 平成25年4月 | 長崎短期大学 食物科 教授、食物科学科長、学長補佐、教学部長 | |
| 平成26年4月 | 長崎短期大学 国際コミュニケーション学科長、同教授、学長補佐、教学部長 (現在に至る) | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成19年3月 | ガイドブック憲法 | 嵯峨野書院(辰村・武居編)(共著) |
| 平成18年5月 | 小学校におけるスクールカウンセラー活動の取り組みについて | 長崎短期大学研究紀要 第18号 pp.85-94 |
| 平成20年5月 | 小学校におけるスクールカウンセラー活動の取り組みについて 2 | 長崎短期大学研究紀要、第20号 pp.1-10 |
| 平成21年5月 | スクールカウンセラー活動を通して児童生徒を理解する | 長崎短期大学研究紀要、第21号 pp.89-96 |
| 平成23年5月 | 犯罪被害者の実情と想いを知る | 長崎短期大学研究紀要、第23号 pp.1-8 |
| 平成24年5月 | 保護者とのかわり方について | 長崎短期大学研究紀要、第24号 pp.33-39 |
| 平成29年3月 | 基礎からわかる憲法(第2版) | 嵯峨野書院、共著(武居編) |

社会における活動等（学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他）

| | | |
|---------|----------------------------------|---------|
| 平成15年3月 | 公益社団法人長崎犯罪被害者支援センター役員（監査役・専門相談員） | （現在に至る） |
| 平成16年4月 | 長崎県教育委員会スクールカウンセラー | （現在に至る） |
| 平成18年4月 | 佐世保市教育委員会学校適応教室（あすなる教室）専門相談員 | （現在に至る） |
| 平成21年4月 | 佐世保市子ども安心ネットワーク協議会検討会委員 | （現在に至る） |
| 平成26年7月 | 佐世保市いじめ等対策連絡協議会委員 | （現在に至る） |

教員紹介

| | | |
|--|---|---------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 牟田 美信 | むた よしのぶ | 教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| <p>佐世保は多くの外国人が暮らし、また、テーマパークでも有名な国際的な観光の街です。日頃の生活でも英語を使う機会が多く、授業で学んだ語学や異文化学習が直接役に立ちます。授業では、実践的な英語力を身につけるための、様々な工夫をしています。言葉は、自分の世界を広げ、人生を豊かにすると同時に、将来のビジネスチャンスも広がります。国際的には勿論の事、日本国内でも今後ますます国際化が進んでいきます。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化理解を深め、国際的な感覚を身につけてください。</p> | | |
| 担当科目 | | |
| 外国語 | ギャプイヤー事前指導 | AwesomeSasebo!(ゼミ) |
| 外国語検定演習 | 異文化間コミュニケーション | 異文化理解演習 |
| インターンシップ指導 | 留学指導 | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 英語(音響)音声学 | 言語学 | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 「英語/日本語の音響音声学上での比較分析」「インターンシップを活用したキャリア教育の推進」「短大におけるグローバルマインド育成」 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本英語音声学会 | International Phonetic Association | 大学英語教育学会 |
| 外国語教育メディア学会 | グローバル人材育成教育学会 | 異文化コミュニケーション学会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成2年3月 | 青山学院大学卒業(英米文学) | |
| 平成2年3月 | 中学校および高等学校教員免許状(英語)取得 | |
| 平成7年3月 | University of Victoria (M.A. in Linguistics) カナダ・国立ビクトリア大学大学院修士課程(言語学科)卒業 | |
| 職歴 | | |
| 平成12年4月 | 長崎短期大学英語科 助教授 | (平成16年3月まで) |
| 平成16年4月 | 長崎短期大学英語科(現 国際コミュニケーション学科) 教授 | (現在に至る) |
| 平成18年4月 | 長崎短期大学英語科 教学部長 | (年 月まで) |
| 平成23年4月 | 長崎短期大学 学長補佐 入試募集広報委員長 | |
| 平成26年4月 | 長崎短期大学 グローバル人材育成推進室・室長 | |
| 平成27年9月 | Awesome Sasebo! 推進室センター長 | |
| 平成28年3月 | 国交・地連委員会 副委員長 | |
| 平成29年3月 | 国交・地連委員会 委員長 | |
| 教育研究業績 | | |
| | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成22年3月 | 生活体験型短期海外研修の取組みと、その効果の検証 | 長崎短期大学研究紀要、第22号 pp.67-75 |
| 平成23年3月 | 長崎短期大学・英語科 キャリア教育への取組み | 長崎短期大学研究紀要、第23号 pp.29-42 |
| 平成24年3月 | 長崎短期大学・英語科 キャリア教育への取組み(2) | 長崎短期大学研究紀要 第24号 pp.1-8 |
| 平成25年3月 | (新)国際コミュニケーション学科が目指すもの | 長崎短期大学研究紀要、第25号 pp.93-100 |
| 平成26年3月 | 国際コミュニケーション学科でのグローバル人材養成教育の試み | 長崎短期大額研究紀要 第26号 pp.1-6 |

| | | |
|--|---------------------------------|-------------------------------|
| 平成27年3月 | 短大におけるグローバルマインド育成 | 長崎短期大学研究紀要 第27号 pp.107-113 |
| 平成28年3月 | 国際コミュニケーション学科・海外留学が持たらす効果の検証 | 長崎短期大額研究紀要 第28号 pp.127-133 |
| 平成29年3月 | 国際コミュニケーション学科・グローバルリーダーシップ育成の試み | 長崎短期大額研究紀要、第29号 pp.69-78 |
| 社会における活動等（学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他） | | |
| 平成20年6月 | 佐世保市国際交流委員会 副委員長 | |
| 平成23年7月 | 佐世保市外国人観光客ウエルカム協議会 委員 | |
| 平成26年4月 | 長崎県日韓親善協会事務局長 | |

教員紹介

| | | |
|--|--|-------------------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| Luc Roberge | ロベージュ ルーク | 准教授 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | Nagasaki Junior College is a great place to continue your educational journey. I hope that I can help and guide you along your future path. | |
| 担当科目 | | |
| 英会話 | スポーツ実習 | |
| ライティング&グラマー | GC Lounge | |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| Teaching English as a Foreign Language | | |
| Education | Physical Education | Social Studies |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 所属学会 | BCCT (British Columbia College of Teachers) JALT – Japan Association of Language Teaching | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成12年6月 | French and English High School Diplomas – W.L. Seaton, Vernon, British Columbia, Canada | |
| 平成17年3月 | Bachelor of Education – University of Victoria, Victoria, British Columbia, Canada | |
| 平成25年7月 | Masters of Arts – Teaching English as a Foreign/Second Language, University of Birmingham, UK | |
| 職歴 | | |
| 平成17年1月 | Sooke School District Teacher, Sooke, British Columbia, Canada | |
| 平成17年9月 | 長崎短期大学 英語科 ELT | (平成22年3月まで) |
| 平成22年4月 | 長崎短期大学 英語科 講師 | (平成27年3月まで) |
| 平成27年4月 | 長崎短期大学 国際コミュニケーション学科 准教授 | (現在に至る) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成27年3月 | Using Discourse Analysis, GPP and GS to Evaluate Gender in Textbooks: Breakthrough 1: Success with English. The Bulletin of Nagasaki Junior College, Issue | 長崎短期大学研究紀要、第27号、pp.63-78 |
| 平成27年8月 | Teacher License Renewal Program –Using English Songs to Promote Positive Attitudes Towards Language Learning. | 長崎短期大学 (Presentation) |
| 平成27年11月 | A Golden Opportunity – A Sports Course for English Language Learners. JALT National. (Presentation) | Shizuoka, Japan |
| 平成27年12月 | Integration and Community. Global College Network Conference – Chichester College, UK (Presentation) | Chichester, UK |
| 平成28年5月 | Fostering Positive Group Dynamics – Using Team Building Activities and Initiatives. PanSIG 2016. May 2016. | Nago, Okinawa, Japan (Presentation) |
| 平成28年5月 | Using Google-Forms with Extensive Reading. PanSIG 2016. (Presentation) | Nago, Okinawa, Japan |
| 平成28年8月 | Teacher License Renewal Program –Using English Songs to Promote Positive Attitudes Towards Language Learning. | 長崎短期大学 (Presentation) |
| 平成28年12月 | Using Action Research for Program Development: Fostering positive group dynamics. Global College Network Conference – Seinajoki, Finland (Presentation) | Seinojoki, Finland |
| 平成28年12月 | Global College Network Student Project. Global College Network Conference – Seinajoki, Finland (Presentation) | Seinojoki, Finland |

社会における活動等（学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他）

平成16年9月 Victoria Racquet Club Minor Hockey Coach

平成23年5月 Volunteer English Teaching – Mikawachi Nursery School

平成27年10月 英語弁論大会 審査員

（現在に至る）

教員紹介

| | | |
|---|--|-------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 章 潔 | しょう けつ | 講師 |
| 所属 (学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 「書山有路勤為径、学海無涯苦作舟」(本の山を登るために、勤勉という道を通るしかない。学びの海は果てしなく、努力という舟で渡るしかない)。短大での二年間、知の山を登り、知の海を渡り、知の世界を存分に堪能してください。 | | |
| 担当科目 | | |
| 長崎研究 | 中国語 | 国際・時事研究 |
| Awesome Sasebo | 卒業研究 | 比較文化研究 |
| 専門分野 (学問分野/専攻) | | |
| 社会学(まちづくり、観光) | 人間社会学(祭り、イベント) | 言語学(中国語、日本語) |
| 研究テーマ (研究領域) | | |
| 祭りによるまちづくり | 中国語・日本語教育 | 異文化コミュニケーション |
| 所属学会 | | |
| 長崎国際大学国際観光学会 | 日本語教育学会 | 「宗教と社会」学会 |
| 西日本宗教学会 | 在日華人漢語教師協会 | 九州人類学研究会 |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成12年8月 | 中国蘇州大学外国語学部貿易日本語学科卒 | |
| 平成18年3月 | 長崎国際大学大学院人間社会学研究科観光学専攻(修士課程)修了 修士(観光学) | |
| 平成24年3月 | 長崎国際大学大学院人間社会学研究科地域マネジメント専攻(博士課程)修了 博士(地域マネジメント) | |
| 職歴 | | |
| 平成12年9月 | 江南大学外国語学部日本語学科 助教(日本語精読、多読、リスニング、日本事情等) (平成15年2月まで) | |
| 平成20年4月 | 長崎国際大学国際交流・留学生支援センター 職員(兼国際観光学科非常勤) | |
| 平成25年4月 | 長崎短期大学・国際コミュニケーション学科 講師 | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成24年3月 | 長崎ランタンフェスティバルの祭り空間に関する研究 | 観光学論集 第7巻 pp.3 - 12 |
| 平成25年1月 | 長崎くんちによる地域コミュニティの再生-長崎市銀屋町の旧町名復活を事例として | 西日本宗教研究 第1号 pp.1 - 20 |
| 平成25年3月 | 小値賀町の古民家ステイ | 観光学論集 第8巻 pp.13-20 |
| 平成26年3月 | 李白と旅 | 観光学論集第9巻 pp.11-20 |
| 平成26年5月 | 著書『長崎の祭りとまちづくり』 | 長崎文献社 |
| 平成27年3月 | 拙政園における寓意と象徴 | 観光学論集第10巻 pp.41-51 |
| 平成28年3月 | 日中日本語教育の比較研究 (章潔・小嶋栄・李テイ) | 長崎短期大学研究紀要 第28号 pp79-86 |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成18年6月 | 佐世保市総合計画を考える市民会議会員 | (平成19年2月まで) |
| 平成20年9月 | 長崎県地域づくりネットワーク協議会会員 | (現在に至る) |
| 平成24年2月 | ハウステンボス社員中国語講座講師(中国語入門) | |
| 平成25年5月 | 長崎県留学生と共に進める地域国際化事業補助金交付(長崎県指令25国第82号) | |

平成25年8月 佐世保市国際交流促進補助金交付(佐世保市指令第650号)

平成28年2月 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館講演 「中国旧正月の豆知識とランタンフェスティバルの楽しみ方」

平成28年9月 佐世保市まちなか大学市民公開講座 「中国の一人っ子政策の開始、展開および終焉」

教員紹介

| | | |
|---|---|----------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 藤原 由衣子 | ふじわら ゆいこ | 助教 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| 「経験は視野を広くし、世界を大きくし、自分を育てる。」 | | |
| 自分は一人。色々な経験をして、色々な人の生き方・考え方にふれて、1日・1年を過ごしていきましょう! | | |
| 担当科目 | | |
| 留学生への日本語授業 | 外国文化事情 | 比較文化研究 |
| 日本語教授法 | インターンシップ | サービスラーニング |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 日本語教育 | | |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 外国語教育 | | |
| 所属学会 | | |
| 留学生教育学会 | 言語文化教育研究学会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成22年12月 日本語教育能力検定試験 合格 | | |
| 平成23年3月 大阪大学(旧大阪外国語大学)外国語学部日本語専攻(専攻語フランス語) 卒業 | | |
| 平成23年3月 高等学校一種免許状(国語)取得 | | |
| 職歴 | | |
| 平成23年4月 | ブータン日本語学校(The Bhutan Centre for Japanese Studies) | 就職 常勤講師として教鞭をとる |
| 平成26年3月 | ブータン日本語学校(The Bhutan Centre for Japanese Studies) | 離任 |
| 平成26年4月 | 長崎短期大学 食物科 | 助教 |
| 平成28年4月 | 長崎短期大学 国際コミュニケーション学科 | 助教 (現在に至る) |
| 平成28年4月 | 大学教育再生加速プログラム | コーディネーター (平成29年3月まで) |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成25年8月 | 「ブータンにおける日本語教育-BCJS における場 合-」口頭発表 | ブータン研究会が実施するブータン勉強会 |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成24年11月 | ブータン日本語教師会 設立 | |
| 平成25年8月 | 日本ブータン研究所主催 第5回ブータン勉強会 発表 | |
| 平成25年4月 | 第1回ブータンワークショップ 開催 | |
| 平成27年6月 | 平成27年度長崎短期大学市民公開講座 講師 | |
| 平成27年6月 | 第2回ブータンワークショップ 開催 | |
| 平成28年6月 | 平成28年度長崎短期大学市民公開講座 講師 | |
| 平成28年10月 | ブータン日本語教師会主催 日本・ブータン外交樹立30周年記念行事「第1回なでしこ日本語キャラバン」招聘講師 | |

教員紹介

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授 / 准教授 / 講師 / 助教 / 助手) |
| 園田 靖 | そのだ やすし | 助教 |
| 所属 (学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | | |
| <p>「やらずに後悔するより、やって後悔するほうがいい」とよく言われますが、「何かをやらなかったことの後悔」は時間が経てば経つほどどんどん膨らんでいく、ということはあまり言われていないように思います。一度きりの人生、自分がやってみたいと思ったことには手を出していきましょう。</p> | | |
| 担当科目 | | |
| 英語 I/II | 外国語検定 I/II | 英語コミュニケーション |
| Awesome Sasebo! I/II | 異文化理解演習 | 茶道文化 |
| 専門分野 (学問分野 / 専攻) | | |
| イギリス文学 | | |
| 研究テーマ (研究領域) | | |
| 英国ルネッサンス演劇 | | |
| 所属学会 | | |
| 日本英文学会 | 日本シェイクスピア協会 | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成23年3月 九州大学大学院人文科学府修士課程修了 文学修士 | | |
| 平成29年3月 九州大学大学院人文科学府博士後期課程 単位取得退学 年 月 | | |
| 職歴 | | |
| 平成25年4月 九州工業大学情報工学部 非常勤講師職受嘱(平成29年3月まで) | | |
| 平成27年4月 福岡女子短期大学 非常勤講師職受嘱(平成28年3月まで) | | |
| 平成29年4月 長崎短期大学国際コミュニケーション学科 助教 | | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 平成22年10月 | 『ハムレット』における内在化される亡霊 | 日本英文学会九州支部第63回大会 |
| 平成23年1月 | Manipulating Power of magic Words in Some Shakespeare's Plays | 修士論文(九州大学人文科学府) |
| 平成24年5月 | 『静寂』を破る毒 王子 Hamlet を殺したもの | 「九大英文学」第52号 |
| 平成24年10月 | シェイクスピア劇の“Manoeuvrers” — 声を内包するテキスト | 第51回シェイクスピア学会 |
| 社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員 / 講演会 / 社会貢献 / 表彰 / 他) | | |
| 年 月 特記事項無し | | |
| 年 月 | | |

教員紹介

| | | |
|--|---|---------------------|
| 氏名 | ひらがな | 職位(教授/准教授/講師/助教/助手) |
| 李 載宇 | イ・ゼウ | 助教 |
| 所属(学科) | (専攻・コース) | |
| 国際コミュニケーション学科 | | |
| 教育モットー(学生へのメッセージ) | より良い授業を作るのは先生ではなく学生の皆様です。一緒に楽しい授業を作りましょう。 | |
| 担当科目 | | |
| 外国語(I~III) | 韓国語(I~II) | 韓国語会話 |
| ライティング&文法(I~II) | 外国文化事情 | 比較文化研究 |
| 異文化理解講習 | 茶道文化 | AWESOME SASEBO! など |
| 専門分野(学問分野/専攻) | | |
| 日本学 | 日本語教育 | 韓国語教育 |
| 研究テーマ(研究領域) | | |
| 韓国文化 | 韓国語教育 | 異文化理解 |
| 所属学会 | 特記事項なし | |
| 学歴・学位・免許資格 | | |
| 平成17年2月 大韓民国 尙文(サンムン)高等学校卒 | | |
| 平成24年2月 大韓民国 崇実(スンシル)大学日語日本学科卒(教職課程履修) | | |
| 職歴 | | |
| 平成22年4月 g.communication NOVA 大阪支部(韓国語講師) | (平成22年12月まで) | |
| 平成24年4月 佐世保市国際政策課(韓国国際交流員) | (平成29年3月まで) | |
| 平成29年4月 長崎短期大学国際コミュニケーション学科(助教) | (現在に至る) | |
| 教育研究業績 | 著書、学術論文等の名称 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等 |
| 年 月 | 特記事項なし | |
| 社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他) | | |
| 平成24年4月 佐世保市まちづくり出前講座 | (平成29年3月まで) | |
| 平成26年4月 佐世保市職員語学研修 | (平成29年3月まで) | |
| 平成29年3月 JET 絆大使任命(日本国総務大臣) | | |
| 平成29年3月 佐世保市観光ふるさと大使委嘱(佐世保市) | | |